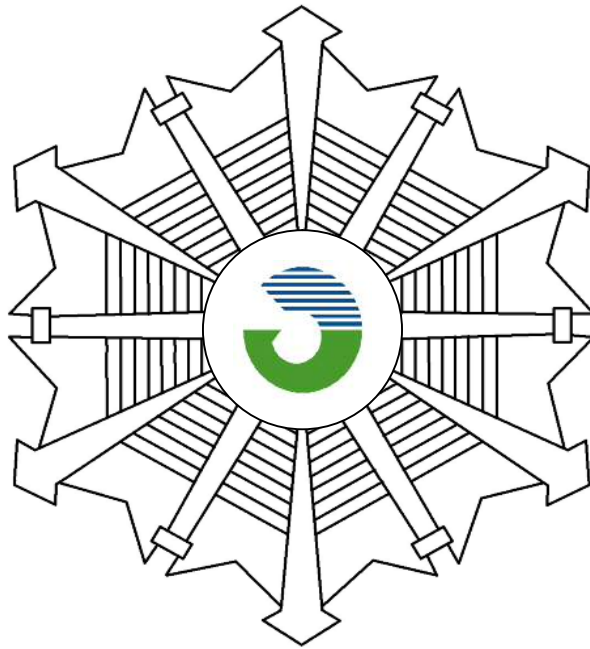


消 防 年 報

第 4 7 号



令和元年刊行

田原市消防本部

は じ め に

近年の社会環境の急速な都市化は、消防においても、予期せぬ災害の発生や被害の大規模化をもたらし、一度発生すると住民の生命、財産に甚大な危険を与えることも予想されます。

本市におきましても、こうした社会の変化に的確に対応できるよう消防力の充実強化に努め「安全で住みよいまちづくり」に総力を挙げて取り組んでおります。

この年報は、平成30年中及び平成31年4月1日現在の資料を中心に収録し、将来の参考に資するとともに、消防活動の状況を広く紹介するために編集したもので、市民の皆様及び関係者の方に広く活用され、本市の消防行政についてご理解をいただければ幸いです。

令和元年5月

田 原 市 消 防 本 部

目 次

消防情勢

田原市の位置と市勢	1
田原市の人口・世帯数	2
分団区域別人口・世帯数	2
過去10年間の人口推移	2
過去5年間の当初予算額	3
消防費の当初予算額内訳	3
平成31年度当初予算額に対する 人口・世帯の充当割	3
消防の沿革	4
消防本部・署の表彰歴	9
消防団の表彰歴	10
消防の組織	13
消防本部・消防署・分署の位置	14
消防本部・消防署事務分掌	15
現有消防力	17
管内消防団分団区域及び車両配置図	18
消防車両現況 (消防本部・消防署・分署)	19
消防車両現況(消防団)	20
消防水利	21
消防職員配置状況	22
消防職員特技資格	23
消防職員年齢	24
消防職員勤続年数	25

火 災

火災概要	26
分団区域別火災件数	26
月別出火件数	27
月別火災損害額	27
原因別火災発生状況	28
時間別火災発生状況	28
風向別火災発生状況	29
過去5年間の火災発生状況	29
火災発生状況	30

救急・救助

過去5年間の救急件数	31
曜日別救急出動件数	31
分団区域別救急出動件数	32
事故別搬送人員の傷病程度	32
月別救急件数	33
年齢区分別搬送人員	34
覚知時間別救急出動件数	34
現場到着所要時間別出動件数	35
収容所要時間別搬送人員	35
過去5年間の救助件数	36
事故別救助件数	36
分団区域別救助件数	37

時間帯別救助件数	38
----------	----

予防・危険物

防火管理者を必要とする防火対象物数	39
分団区域別防火対象物数(150㎡以上)	40
3階以上の防火対象物数	41
火災予防の普及指導状況	41
消防用設備等着工・設置届状況	42
用途別建築同意件数	43
工事別建築同意件数	43
分団区域別危険物施設数	44
過去10年間の危険物施設の推移	45
倍数別・類別危険物施設数	46
危険物施設許可・検査・承認状況	47
諸届出状況	48

通信

消防防災ネットワーク	49
通信施設の保有状況	50
119番着信状況	51

消防団

消防団員数	52
消防団員勤続年数	52
消防団員年齢	53

歴代消防役職者

歴代消防長・消防署長	54
歴代消防団正副団長	55

附属資料

防 災

自主防災会の組織(例)	57
自主防災会設置状況	57
地震災害避難場所	58
地震避難所	59
風水害避難所	60
飲料水兼用耐震性貯水槽整備状況	61
自主防災会用可搬式 小型動力ポンプ配置状況	61
防災行政無線設備設置状況	62

気 象

月別日平均風速	63
月別風速状況	63
月別風向頻度	64
月別気温状況	65
月別湿度状況	65
月別降雨状況	66
月別降雨日数状況	66

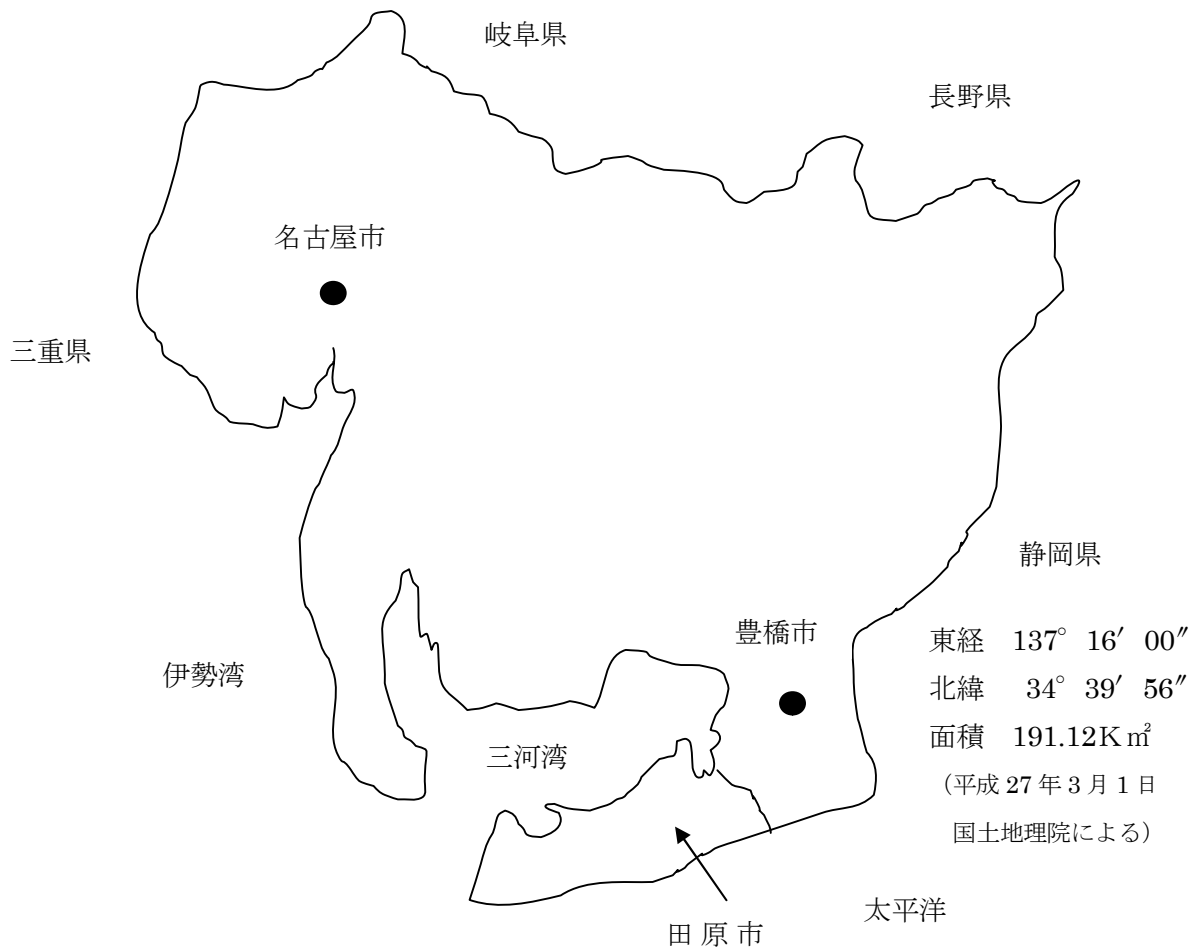
消 防 情 勢

田原市の位置と市勢

田原市は、愛知県の南端に位置しており、北は三河湾、南は太平洋、西は伊勢湾と三方を海に囲まれた渥美半島のほぼ全域が市域となっています。海岸線の延長は約100kmにも及び、唯一、東側を陸続きに豊橋市と接しています。

本市の特徴としましては、農業、工業が盛んで、農業は農業基盤整備や近代化施設などの整備が進み、国内屈指の高生産性農業が展開されている農業のまちであります。一方、工業では、産業集積地となっている三河港臨海部は、昭和39年の重要港湾指定・東三河工業整備特別地域指定を受け、昭和42年から約1,100ヘクタールの埋立造成が開始され、その後、順次完成した造成地に自動車産業など多数の企業が進出し、操業しています。

こうした三河港臨海部の飛躍的な進展とあわせ、温暖な気候と風光明媚な海岸線や恋路ヶ浜、伊良湖岬灯台など情感あふれる海と山に囲まれた美しい自然環境を活用した農・工・商の調和のとれた発展と、緑と太陽のあふれる住みよい生活環境と心のふれあいを大切にした将来都市像「うるおいと活力のあるガーデンシティ」を目指しまちづくりを進めています。



田原市の人口・世帯数

(平成31年4月1日現在)

人 口	世 帯 数	男	女
62,191 人	22,456 世帯	31,488 人	30,703 人

分団区域別人口・世帯数

区 域 別	人 口	世 帯 数
東 部	5,712 人	1,917 世帯
神 戸	7,631 人	2,797 世帯
南 部	4,222 人	1,559 世帯
野 田	3,053 人	949 世帯
中 部	10,540 人	4,412 世帯
童 浦	6,530 人	2,744 世帯
赤 羽 根	5,521 人	1,782 世帯
泉	3,515 人	1,227 世帯
福 江	11,637 人	3,875 世帯
伊良湖岬	3,830 人	1,194 世帯
合 計	62,191 人	22,456 世帯

過去10年間の人口推移

	人 口	男	女
平成22年	66,493 人	33,643 人	32,850 人
平成23年	66,148 人	33,376 人	32,772 人
平成24年	65,944 人	33,294 人	32,650 人
平成25年	65,386 人	32,976 人	32,410 人
平成26年	65,017 人	32,825 人	32,192 人
平成27年	64,382 人	32,521 人	31,861 人
平成28年	63,853 人	32,260 人	31,593 人
平成29年	63,174 人	31,895 人	31,279 人
平成30年	62,841 人	31,791 人	31,050 人
平成31年	62,191 人	31,488 人	30,703 人

過 去 5 年 間 の 当 初 予 算 額

年度 \ 区分	一 般 会 計	消 防 費	市一般会計に対する 消防費の割合
平成 2 7 年度	30,400,000 千円	1,861,639 千円	6.1%
平成 2 8 年度	29,550,000 千円	1,730,237 千円	5.9%
平成 2 9 年度	27,580,000 千円	1,985,355 千円	7.2%
平成 3 0 年度	28,940,000 千円	1,488,290 千円	5.1%
平成 3 1 年度	29,720,000 千円	1,426,512 千円	4.8%

消 防 費 の 当 初 予 算 額 内 訳

年度 \ 区分	常備消防費 (千円)	非常備消防費 (千円)	消防施設費 (千円)	水防費 (千円)	災害対策費 (千円)
平成27年度	963,600	144,641	479,037	1,053	273,308
平成28年度	1,065,068	128,011	258,379	498	278,281
平成29年度	1,029,087	133,305	218,764	497	603,702
平成30年度	1,044,715	133,409	208,620	546	101,000
平成31年度	1,054,559	131,921	142,704	568	96,760

平成 3 1 年度当初予算額に対する人口・世帯の充当割

年度 \ 区分	当初予算額	人口 1 人当り	1 世帯当り
市一般会計	29,720,000 千円	477,883 円	1,323,478 円
消 防 費	1,426,512 千円	22,938 円	63,525 円

(人口・世帯数は平成 3 1 年 4 月 1 日現在)

消 防 の 沿 革

(町火消時代)

文政12年 8月	田原城下に住む若者たちが相図って、若者控連判状を作り、主として相互修養を行い出火のときは火消夫となって出動した。
天保13年	用水桶6個を購入した。
天保14年	田原城主より、火事具を与えられ火災消防に当った。
元治 元年	田原城主より、竜吐水手筒2丁、提灯箱14箱を貸し与えられ火消としての内容が整った。
明治 5年10月	出火合図が定められた。
明治11年	組合の法被（一重木綿）が新調されると同時に全町にわたり自警消防が設立されていっそう外形が整った。

(公設消防時代)

大正 3年	松井愛知県知事及び松井警察分署長のすすめにより公設消防組が設立され、ここに公設消防としての第1歩を踏み出した。
昭和14年 4月	消防組を警防団と改称した。
昭和22年 9月	警防団を消防団と改称した。

(自治体消防時代)

昭和22年12月	消防組織法公布にともなって、自治体消防として発足した。
昭和29年12月	町村合併により一時解団
昭和30年 1月 1日	旧田原町、神戸村、野田村が合併、新しく田原町として発足と同時に団員910名をもって田原町消防団を編成し発足した。
昭和30年 4月	杉山村の一部（大字六連地区）を合併し、団長1、副団長4、分団数24、団員数1,000名の消防団となった。
昭和34年 4月	分団数23、団員数942名に減じた。
昭和38年 4月	20分団に編成替え、団長1、副団長2、団員数888名となった。
昭和39年 4月	消防団員数を808名に減じた。
昭和40年 4月	消防団員数を698名に減じた。
昭和45年 4月	消防5か年計画に基づき、役場総務課に係員6名をもって消防係が置かれた。さらに、6分団に統合編成、団員数637名となった。
昭和45年 8月	救急自動車購入、同月10日から役場消防係による救急業務を開始した。
昭和46年 1月 1日	田原町消防本部を設置
昭和46年 4月 1日	消防団員数を589名に減じた。
昭和46年12月20日	消防本部（署）庁舎竣工
昭和47年 4月 1日	消防署発足。消防本部（署）に消防係を置き、消防職員24名にて消防一般業務を開始、団員数を530名に減じた。
昭和48年 4月 1日	消防本部に予防係を新設、消防職員29名となった。
昭和49年 4月 1日	消防職員34名に増員

昭和51年	3月31日	副団長の定数を1名に減じた。
昭和53年	1月15日	(株)石高組より、消防船の寄贈を受けた。
昭和54年	4月 1日	消防職員36名に増員
昭和54年	10月12日	田原町防火協会より、指揮車の寄贈を受け消防署に配備
昭和54年	10月12日	協栄木工(株)より、携帯無線機の寄贈を受けた。
昭和55年	4月 1日	消防課に危険物係を新設
昭和55年	10月23日	(社)日本損害保険協会より、損保号の寄贈を受け消防署に配備
昭和56年	4月 1日	消防職員39名に増員
昭和56年	10月13日	協栄木工(株)より、資材搬送車の寄贈を受け消防署に配備
昭和57年	3月26日	救急指令装置購入、消防本部(署)に配備
昭和57年	4月 1日	消防職員40名に増員
昭和57年	8月27日	気象観測装置(デジタルデータ集録装置付)購入、消防署に配備
昭和58年	4月 1日	消防署に警防係を新設、消防職員41名に増員
昭和62年	6月 1日	消防課の予防係、危険物係を統合し予防危険物係を新設、 消防署に警防第1係、警防第2係を新設
昭和62年	8月31日	消防本部(署)庁舎竣工
平成 元年	1月25日	訓練塔竣工
平成 2年	4月 1日	消防団員数を410名に減じた。
平成 5年	4月 1日	消防職員44名に増員
平成 6年	4月 1日	消防職員49名に増員
平成 7年	1月18日	阪神・淡路大震災(兵庫県南部地震)被災地に救助隊延べ2隊6名
	～ 1月23日	派遣(神戸市)
平成 7年	2月27日	阪神・淡路大震災(兵庫県南部地震)被災地に消火隊員延べ4名
	～ 3月20日	派遣(神戸市)
平成 7年	4月 1日	消防職員51名に増員
平成 7年	10月16日	渥美郡赤羽根町長から田原町長へ「消防事務に関する事務の委託について」の依頼があった。
平成 8年	4月 1日	「消防事務委託研究会」を設置する。
平成 9年	2月18日	豊橋信用金庫より2B型救急自動車の寄贈を受け、消防署に配備
平成10年	3月 3日	愛知県共済生活協同組合より、広報車の寄贈を受け消防本部に配備
平成10年	3月11日	渥美郡赤羽根町議会において、消防事務の委託に関する議決がされた。
平成10年	3月18日	田原町議会において、消防事務の委託に関する議決がされた。
平成10年	3月20日	消防緊急通信指令装置購入、消防本部(署)に配備
平成10年	4月 1日	渥美郡赤羽根町長と田原町長との間で、消防広域常備化に伴う消防事務委託の基本的事項に関する確認書の締結がされた。 消防職員定数を71名に改正、消防職員57名に増員
平成10年	4月 2日	渥美郡赤羽根町が消防体制の常備化に係る政令指定を受けた。
平成10年	10月 1日	渥美郡赤羽根町長と田原町長との間で、消防事務の委託に関する附属協定書の締結がされた。

平成10年12月22日	広域常備消防業務開始に伴う条例改正議決
平成11年 2月26日	田原町消防署赤羽根分署庁舎新築工事完了
平成11年 3月 4日	(社)日本損害保険協会より、火災保険号(水槽付消防ポンプ自動車)の寄贈を受けた。(赤羽根分署へ配置)
平成11年 3月24日	田原町消防署赤羽根分署庁舎竣工、開署
平成11年 3月31日	田原町長と赤羽根町長との間で締結されていた、「救急に関する協定書」の廃止
平成11年 4月 1日	消防職員62名に増員、消防署に通信係を新設 渥美郡赤羽根町の消防事務受託業務開始 田原町消防署赤羽根分署に警防第1係、警防第2係を置き、分署長以下職員9名にて消防事務受託業務開始する。
平成12年 4月 1日	消防職員67名に増員(赤羽根分署11名に増員)
平成13年 4月 1日	消防職員68名に増員(赤羽根分署13名に増員) 消防署に通信第1係、通信第2係を新設
平成13年11月19日	ラッパ隊9名にて結成
平成14年 4月 1日	消防署(本署、分署)警防係及び通信係が3交替制勤務開始 消防職員69名に増員
平成14年 4月24日	東海地震に係る地震防災対策強化地域に指定
平成15年 8月20日	田原町、赤羽根町が合併し田原市が誕生、消防団は1団、9分団、車両21台、団長1名、副団長2名、団員定数557名の田原市消防団となる。 赤羽根町の広報車を消防本部に配備
平成15年12月17日	東南海・南海地震防災対策推進地域に指定
平成16年 3月19日	高松分団詰所・車庫新築工事完了
平成16年 4月 1日	消防職員70名に増員
平成16年 8月 7日	第49回愛知県消防操法大会(佐屋町)東部分団出場 (自動車ポンプの部)
平成17年 3月22日	赤羽根分団詰所・車庫新築工事完了
平成17年 3月 1日	万博消防署へ職員1名派遣
平成17年 4月 1日	消防職員71名に増員 消防団は1団、7分団、車両16台に統合編成(高松・赤羽根・若戸の3分団8車両を1分団3車両に統合し名称を赤羽根分団とする。 北部分団が童浦分団へと名称変更) 消防団員数を495名に減じた。 愛知県防災航空隊へ職員1名派遣(任期3年)
平成17年 7月23日	第50回愛知県消防操法大会(豊田市)神戸分団出場 (自動車ポンプの部5位入賞)
平成17年10月 1日	田原市、渥美町が合併し、消防本部が市役所本庁舎内に移転、旧渥美町消防署は渥美分署となり、1本部1署2分署、車両33台、消

		防職員126名となる。防災対策室が総務部から消防本部へ組織編成される。消防団は1団10分団、車両25台、団長1名、副団長3名、団員定数746名の田原市消防団となる。
平成18年	2月28日	赤羽根分署増築工事完了
平成18年	3月13日	防災行政無線固定系一波統一工事完了（渥美エリア拡充工事）
平成18年	3月26日	赤羽根分団3号車詰所・車庫新築工事完了
平成18年	7月22日	第51回愛知県消防操法大会（大府市）南部分団出場 （ポンプ車操法の部7位入賞）
平成19年	3月19日	デジタル地域防災無線システム整備工事完了（渥美エリア拡充工事）
平成19年	7月16日	第52回愛知県消防操法大会（豊橋市）野田分団出場 （ポンプ車操法の部）
平成19年	8月10日	市役所南庁舎6階に防災センターを整備 （田原市防災情報システム施設等整備工事完了）
平成20年	2月26日	愛知県共済生活協同組合より、広報車の寄贈を受け消防本部に配備
平成20年	3月14日	渥美分署改築工事完了（警防事務室）
平成20年	7月12日	第53回愛知県消防操法大会（一宮市）中部分団出場 （ポンプ車操法の部）
平成21年	1月28日	全国瞬時警報システム（J-ALERT）整備工事完了
平成21年	2月27日	渥美分署改築工事完了（個室仮眠室等）
平成21年	3月19日	消防署改築工事完了（個室仮眠室等） 緊急地震速報受信装置を市公共施設（114か所）に整備
平成21年	4月 1日	防災対策室を防災対策課に名称変更 愛知県消防学校へ職員1名派遣（任期2年）
平成21年	8月 8日	第54回愛知県消防操法大会（岡崎市）童浦分団出場 （ポンプ車操法の部8位入賞）
平成21年	11月13日	神戸分団1号車詰所・車庫新築工事完了
平成22年	7月24日	第55回愛知県消防操法大会（日進市）赤羽根分団出場 （小型ポンプの部）
平成23年	3月12日 ～ 4月12日	東日本大震災被災地（宮城県亘理郡）に緊急消防援助隊（愛知県隊）として延べ9隊41名を派遣
平成23年	7月16日	第56回愛知県消防操法大会（田原市）泉分団出場 （小型ポンプの部5位入賞）
平成24年	1月 1日	東三河消防通信指令事務協議会加入 （運用開始 同年3月1日 消防指令センターへ職員3名派遣）
平成24年	4月 1日	消防署に指揮係を新設
平成24年	7月21日	第57回愛知県消防操法大会（半田市）福江分団出場 （小型ポンプの部）
平成25年	2月26日	（財）日本消防協会より、多機能型消防車両の交付を受け伊良湖岬分団に配備

平成25年	3月 7日	総務省消防庁より、支援車の無償貸与を受け消防署に配備
平成25年	3月14日	消防救急デジタル無線機器整備完了（運用開始 同年3月26日）
平成25年	4月 1日	消防団員数を720名に減じた。 消防団に機能別団員制度を導入する。 愛知県防災航空隊へ職員1名派遣（任期3年）
平成25年	6月26日	第36回全国消防職員意見発表会において遠山直也消防士が最優秀賞を受賞
平成25年	8月10日	第58回愛知県消防操法大会（西尾市）伊良湖岬分団出場 （小型ポンプの部5位入賞）
平成26年	3月27日	アイシン・エイ・ダブリュ(株)より、携帯用拡声器25基の寄贈を受け消防団に配備
平成26年	3月28日	南海トラフ地震防災対策推進特別措置法に基づき、防災対策推進地域、津波避難対策特別強化地域に指定
平成26年	3月30日	総務省消防庁より、小型動力ポンプ付軽自動車、消防団拠点資機材等の無償貸付を受け福江分団に配備
平成26年	4月 1日	（公財）日本消防協会へ職員1名派遣（任期2年）
平成26年	8月 9日	第59回愛知県消防操法大会（小牧市）東部分団出場 （小型ポンプの部）
平成26年	9月29日 ～10月11日	御嶽山噴火災害に緊急消防援助隊（愛知県隊）として延べ6隊13名を派遣
平成26年	10月10日	消防署航空燃料庫新築工事
平成26年	11月26日	消防署訓練用地舗装工事
平成26年	12月 9日	（公財）日本消防協会より防災活動車の交付を受け、消防本部に配備
平成27年	3月12日	渥美分署改築工事完了（車庫）
平成27年	3月24日	消防署増改築工事完了（バリアフリー改修工事）
平成27年	3月27日	泉分団詰所・車庫新築工事完了（1号車・2号車統合）
平成27年	8月 8日	第60回愛知県消防操法大会（豊川市）神戸分団出場 （ポンプ車操法の部4位入賞）
平成28年	2月15日	消防署改築工事完了（消毒庫） 屋外訓練塔補修工事（階段等）
平成28年	3月11日	福江分団4号車詰所・車庫新築工事完了
平成28年	3月30日	伊良湖岬分団3号車詰所・車庫新築工事完了
平成28年	4月 1日	機構改革により市長部局に「防災局」を設置。防災対策課が消防本部から防災局へ組織編成される。
平成28年	7月30日	第61回愛知県消防操法大会（尾張旭市）南部分団出場 （ポンプ車操法の部）
平成28年	5月24日	伊勢志摩サミット消防特別警戒のため職員1名派遣
平成29年	3月16日	田原市消防署2階浴室改修工事完了
平成29年	3月27日	福江分団3号車詰所・車庫新築工事完了
平成29年	4月 1日	愛知県消防学校へ職員1名派遣（任期2年）

平成29年 8月 5日 第62回愛知県消防操法大会（碧南市）野田分団出場
（小型ポンプ操法の部優勝）

平成30年 4月 1日 消防団員を730名に増員し、本部付け女性消防団員を10名任用する。

平成30年 4月 1日 消防本部に予防課を新設

平成30年 7月 2日 伊良湖岬分団2号車詰所・車庫新築工事完了

平成30年 7月 6日 平成30年7月豪雨に緊急消防援助隊（愛知県隊）として岡山市倉敷市3隊12名を派遣
～7月12日

平成30年 7月28日 第63回愛知県消防操法大会（稲沢市）中部分団出場

平成31年 3月28日 福江分団2号車詰所・車庫新築工事完了

平成31年 4月 1日 名古屋市消防局へ職員1名派遣（任期1年）

消防本部・署の表彰歴

昭和49年 6月 5日

田原警察署長より、日頃の救急活動に対し感謝状を授与された。

昭和49年11月 7日

愛知県消防協会長より、活動内容が優秀、他の模範であるとして、東三河消防連合演習を記念して楯を授与表彰された。

昭和53年11月19日

愛知県知事より、自治体消防制度発足30周年にあたり、消防成績が優秀であるとして竿頭綬を授与表彰された。

平成 7年 5月27日

消防庁長官より、1月17日に発生した阪神・淡路大震災の消防応援活動に対し感謝状を授与された。

平成18年10月28日

愛知県消防協会長より、地区消防大会を記念して表彰状と竿頭綬を授与された。

平成23年10月26日

全国消防長会会長より、3月11日に発生した東日本大震災の緊急消防援助隊活動に対し表彰状を授与された。

平成23年11月 9日

総務大臣より、東日本大震災に緊急消防援助隊を派遣した消防応援活動に対し表彰状を授与された。

平成27年 1月21日

長野県知事より、9月27日に発生した御嶽山における噴火災害での人命救助活動に対し、表彰状を授与された。

平成27年 2月 6日

消防庁長官より、9月27日に発生した御嶽山における噴火災害の緊急消防援助隊活動に対し

表彰状を授与された。

平成28年 8月 1日

消防庁長官より、5月24日から29日まで実施した伊勢志摩サミットにおける消防特別警戒に対し賞状を授与された。

平成31年 2月 5日

消防庁長官より、平成30年7月6日に発生した平成30年7月豪雨における緊急消防援助隊活動に対し賞状を授与された。

消 防 団 の 表 彰 歴

昭和31年 3月 1日

国家消防本部より、総合的消防力の強化拡充につき、消防功労者表彰旗を授与された。

昭和34年12月 9日

中部日本災害対策本部長（国務大臣）より、台風15号に際しての災害復旧に対する功績に対して感謝状を授与された。

昭和34年12月23日

愛知県知事より、伊勢湾台風の災害防止、復旧に対する功労により表彰状を授与された。

昭和35年 3月 8日

国家消防本部より、風水害の功労に対して表彰状を授与された。

昭和36年 3月15日

愛知県消防協会長より、無火災の功績により表彰状と金一封を授与された。

昭和38年 2月11日

日本消防協会長より、消防使命達成、成績抜群の功績によって表彰旗を授与された。

昭和41年 8月 6日

愛知県消防協会長より、第10回県下消防団消防操法大会で実施した模範部隊訓練によって優秀な成績を収め表彰された。

昭和41年 8月19日

第11回県下消防操法大会の自動車結合吸管の部において優勝し、表彰状を授与された。

昭和41年12月19日

愛知県知事より、集中豪雨の災害復旧に対する功労により表彰状を授与された。

昭和41年12月28日

消防庁長官より、集中豪雨における救助水防活動の功労により表彰状と記念品を授与された。

昭和42年 3月27日

愛知県消防協会長より、集中豪雨における被災者救助の功績により現場功労旗を授与された。

昭和42年 9月 1日

内閣総理大臣より、集中豪雨に際し被災者の救援及び災害復旧の功績に対して表彰状を授与さ

れた。

昭和44年 8月 2日

愛知県知事より、第14回県下消防操法大会の自動車ポンプ軽量吸管の部において優秀な成績を収め表彰状を授与された。

昭和46年10月13日

愛知県知事より、台風23号に伴う集中豪雨に際しての災害防止功労に対して感謝状を授与された。

昭和48年 6月 7日

全国防災協会長より、昭和47年の水害防止復旧活動に努めた功労により表彰状を授与された。

昭和48年11月15日

愛知県消防協会長より、優良消防団として特別功績旗を授与、表彰された。

昭和49年11月 7日

愛知県消防協会長より、東三河消防連合演習において他の模範として竿頭綬、楯を授与、表彰された。

昭和53年11月 3日

愛知県知事より、優良消防団として表彰状を授与された。

昭和61年10月25日

愛知県消防協会長より、地区消防大会40周年を記念して表彰状を授与された。

昭和61年11月16日

愛知県消防協会長より、優良消防団として功績旗を授与、表彰された。

愛知県知事より、地区消防大会40周年を記念して竿頭綬を授与、表彰された。

平成 4年 8月 4日

第37回愛知県消防操法大会のポンプ車の部において優勝し、表彰状を授与された。

平成 5年11月 9日

愛知県消防協会長より、自治体消防制度45周年を記念して竿頭綬を授与、表彰された。

平成 6年 8月28日

愛知県消防協会長より、地区消防大会を記念して表彰状を授与された。

平成10年11月20日

愛知県知事より、地区消防大会50周年を記念して竿頭綬を授与、表彰された。

平成11年11月 4日

愛知県知事より、優良消防団として功績旗を授与、表彰された。

平成14年 8月22日

愛知県消防協会長より、地区消防大会を記念して表彰状を授与された。

平成18年10月28日

愛知県消防協会長より、地区消防大会を記念して表彰状を授与された。

平成22年10月 2日

愛知県消防協会長より、地区消防大会を記念して表彰状と竿頭綬を授与された。

平成23年11月 1日

愛知県消防協会長より、防火の普及啓発、安心・安全な地域づくりに努めたとして表彰状と特別竿頭綬を授与された。

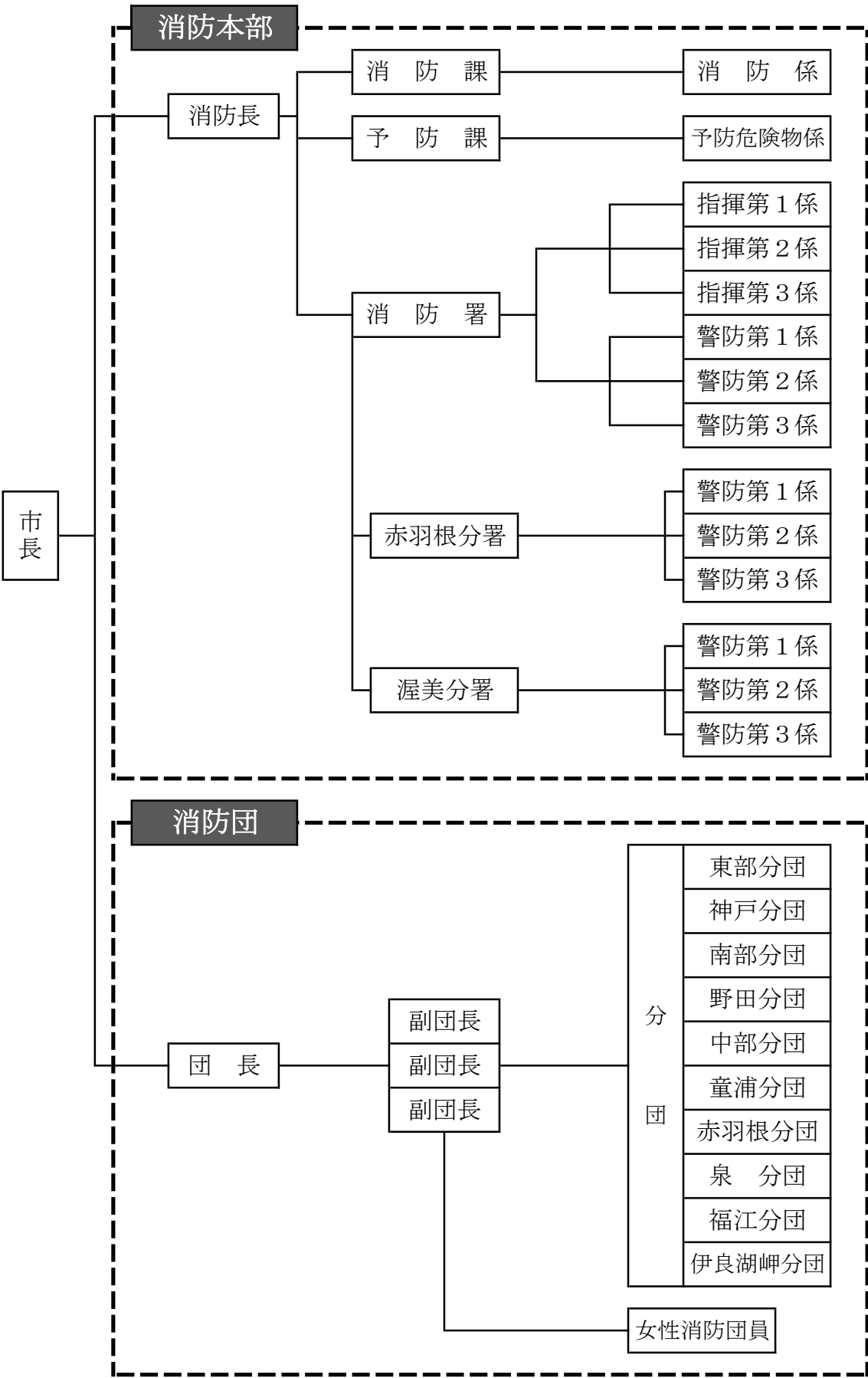
平成26年 2月17日

総務大臣より、消防団員の確保を通じ地域防災体制の充実・地域の安心安全の確保に寄与したことに対して感謝状を授与された。

平成29年 8月 5日

第62回愛知県消防操法大会の小型ポンプ操法の部において優勝し、表彰状を授与された。

消 防 の 組 織



田原市消防本部の位置

所在地 〒441-3492
愛知県田原市田原町南番場30番地1
田原市役所南庁舎3階
電話 (0531) 23-4073
FAX (0531) 23-0180

田原市消防署の位置

所在地 愛知県田原市田原町丸田14番地
敷地面積 6,694.92m²
建物構造 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄筋コンクリート造
延面積 2,234.72m²
竣工 昭和62年8月31日
電話 (0531) 23-0119(代)
FAX (0531) 23-2440

赤羽根分署の位置

所在地 愛知県田原市赤羽根町大石畑6番地
敷地面積 2,453.72m²
建物構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
延面積 689.51m²
竣工 平成11年3月24日
電話 (0531) 45-4119
FAX (0531) 45-4120

渥美分署の位置

所在地 愛知県田原市福江町中羽根104番地
敷地面積 3,877.97m²
建物構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
延面積 1,415.12m²
竣工 昭和47年3月31日
電話 (0531) 33-0119
FAX (0531) 32-2479

消防本部・消防署事務分掌

消防課

消防係

- (1) 人事及び組織に関すること。
- (2) 公印の保管に関すること。
- (3) 文書の収受発送に関すること。
- (4) 例規に関すること。
- (5) 消防職員の福利厚生に関すること。
- (6) 予算その他経理に関すること。
- (7) 消防統計及び消防情報に関すること。
- (8) 消防計画に関すること。
- (9) 災害の警戒及び防ぎよに関すること。
- (10) 消防団に関すること。
- (11) 消防教養訓練に関すること。
- (12) 救急、救助業務に関すること。
- (13) 消防施設の整備計画に関すること。
- (14) 消防施設の整備保全及び運用に関すること。
- (15) 消防職員委員会に関すること。
- (16) その他消防の庶務に関すること。

予防課

予防危険物係

- (1) 公印の保管に関すること。
- (2) 防火思想の普及及び広報に関すること。
- (3) 防火対象物の検査、指導に関すること。
- (4) 消防用設備等又は特殊消防用設備等の設置、指導及び検査に関すること。
- (5) 建築同意事務に関すること。
- (6) 火災の原因及び損害の調査に関すること。
- (7) 火災警報及び気象に関すること。
- (8) 田原市火災予防条例(昭和37年田原町条例第3号)に基づく届出(第45条の規定に基づく届出を除く。)及び指導に関すること。
- (9) 幼年消防クラブ、少年消防クラブ及び女性防火クラブに関すること。
- (10) 危険物の規制に関すること。
- (11) 危険物製造所等の許認可及び検査に関すること。
- (12) 危険物災害の調査研究に関すること。
- (13) 液化石油ガス、圧縮アセチレンガスの届出及び指導に関すること。
- (14) 少量危険物、指定可燃物の届出及び指導に関すること。
- (15) 石油コンビナート等の災害予防に関すること。
- (16) 煙火消費の許可等に関すること。
- (17) その他予防及び危険物に関すること。

消防署

消防署の指揮第1係、指揮第2係及び指揮第3係

- (1) 災害現場の指揮及び統制に関すること。
- (2) 部隊運用に関すること。
- (3) 災害現場の情報提供に関すること。
- (4) 災害情報の収集に関すること。
- (5) 火災原因及び損害の調査に関すること。
- (6) 防火対象物の立入検査に関すること。
- (7) 通信施設の整備保全及び運用に関すること。
- (8) 救急医療情報及び緊急通報システムに関すること。
- (9) 気象に関すること。
- (10) その他指揮業務に関すること。

消防署及び分署の警防第1係、警防第2係及び警防第3係

- (1) 火災その他災害の警戒及び防ぎょに関すること。
- (2) 消防対象物、消防水利の把握及び調査に関すること。
- (3) 署員の教育訓練及び服務に関すること。
- (4) 消防機械器具又は資機材の整備保全及び運用に関すること。
- (5) 警防計画に関すること。
- (6) 火災その他災害の記録に関すること。
- (7) 火災原因及び損害の調査に関すること。
- (8) 田原市火災予防条例（昭和37年田原町条例第3号）第45条の規定に基づく届出の受理に関すること。
- (9) 防火対象物の立入検査に関すること。
- (10) 救急救助業務に関すること。
- (11) 救急法の指導に関すること。
- (12) 消防本部との連絡調整に関すること。
- (13) その他の警防業務に関すること。

現 有 消 防 力

(平成31年4月1日現在)

区 分		現 有 数
署 所 の 数		3
車 両	消 防 ポ ン プ 自 動 車	7
	は し ご 自 動 車	1
	化 学 消 防 車	2
	救 助 工 作 車	1
	救 急 自 動 車	5
	特 殊 車 両	16
	合 計	32
人 員	警 防、救 助、救 急 要 員	81
	指 揮 要 員	12
	通 信 要 員	3
	予 防 要 員	6
	庶 務 の 処 理 等 の 要 員	11
合 計		113

管内消防団分団区域及び車両配置図

・消防団車両

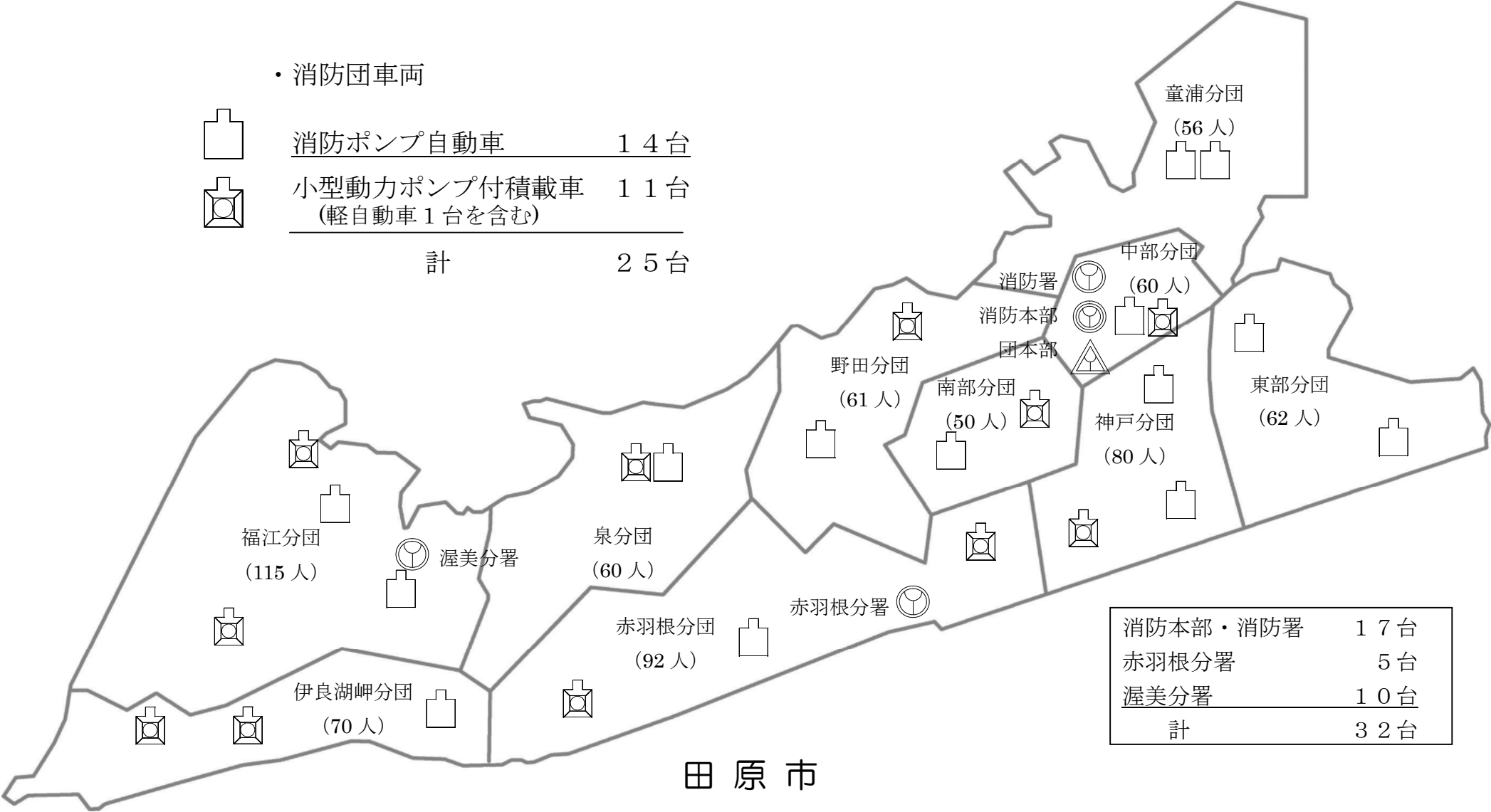


消防ポンプ自動車 1 4 台



小型動力ポンプ付積載車 1 1 台
(軽自動車 1 台を含む)

計 2 5 台



消防本部・消防署	1 7 台
赤羽根分署	5 台
渥美分署	1 0 台
計	3 2 台

消防車両現況（消防本部・消防署）

消防本部 ・ 消 防 署

（平成31年4月1日現在）

種 別	車両 社名	登録年月	登録番号	経過 年数	ポンプ 性 能	ポンプ 社 名	摘 要
指 揮 車	トヨタ	21年 3月	豊橋800さ 8 1 6 0	10			
ポンプ車1	日野	21年 2月	豊橋800さ 8 1 4 0	10	A-2	日本ドライ	
ポンプ車2	トヨタ	9年11月	豊橋88な 5 3 4 8	21	A-2	日本機械	
タンク車	日野	26年12月	豊橋800は 5 7 6	4	A-2	モリタ	水2,000 ^{リットル} CAFS
はしご車	日野	15年11月	豊橋800は 1 8 4	15			3 5 m
大型水槽車	日野	26年2月	豊橋800は 5 5 2	5	B-2	トーハツ	水10,000 ^{リットル}
化学車	日野	17年12月	豊橋830の 1 1 9	13	A-2	日本ドライ	Ⅱ型
救助工作車	日野	17年 3月	豊橋800は 2 3 2	14			Ⅱ型
水難救助車	トヨタ	13年 7月	豊橋800さ 3 2 3 5	17			
資材搬送車	トヨタ	9年11月	豊橋88な 5 3 4 4	21			
災害支援車	トヨタ	25年 3月	豊橋800さ 9 6 0 1	6			総務省消防庁より 無償貸与
救急1号車	トヨタ	21年 1月	豊橋800さ 8 1 0 8	10			高規格救急車
救急2号車	トヨタ	28年11月	豊橋800す 8 7 9	2			高規格救急車
広報1号車	トヨタ	20年 2月	豊橋800さ 7 6 4 1	11			
防災活動車	三菱	26年12月	豊橋800す 1 9 4	4			日本消防協会より 交付
広報3号車	トヨタ	14年 2月	豊橋800さ 3 7 2 6	17			
査 察 車	トヨタ	12年 6月	豊橋800さ 2 2 4 7	18			

赤 羽 根 分 署

種 別	車両 社名	登録年月	登録番号	経過 年数	ポンプ 性 能	ポンプ 社 名	摘 要
ポンプ車	日野	24年11月	豊橋800さ 9 5 0 0	6	A-2	小川ポンプ	
タンク車	日野	31年 1月	豊橋800は 7 1 2	0	A-2	モリタ	水1,500 ^{リットル} CAFS
救急車	トヨタ	22年12月	豊橋800さ 8 8 2 1	8			高規格救急車
指令車	トヨタ	11年 3月	豊橋800た 2 3 3	20			
資材搬送車	ダイハツ	14年 6月	豊橋80あ 3 0 7	16			

渥 美 分 署

種 別	車両 社名	登録年月	登録番号	経過 年数	ポンプ 性 能	ポンプ 社 名	摘 要
ポンプ車	日野	28年 1月	豊橋800す 5 3 7	3	A-2	モリタ	水600 ^{リットル} CAFS
タンク車	日野	27年12月	豊橋800は 6 0 4	3	A-2	モリタ	水1,500 ^{リットル} CAFS
大型高所放水車	日野	21年11月	豊橋800は 4 4 0	9	A-1	モリタ	2 5 m
泡原液搬送車	日野	12年 3月	豊橋800は 6 5	19	B-3	シバウラ	6,000 ^{リットル}
大型化学車	日野	28年 3月	豊橋800は 6 1 0	3	A-1	GMいちほら	2,000 ^{リットル}
資材搬送車	三菱	14年 9月	豊橋800さ 4 1 6 2	16			クレーン付
救急1号車	トヨタ	30年 9月	豊橋800す 1 6 3 1	0			高規格救急車
救急2号車	トヨタ	23年 2月	豊橋800さ 8 8 9 8	8			高規格救急車
指 令 車	日産	9年 2月	豊橋88な 4 5 4 6	22			
広報1号車	トヨタ	16年 2月	豊橋800さ 5 1 6 9	15			

消防車両現況（消防団）

（平成31年4月1日現在）

所 属		種 別	車両 社名	登録年月	登録番号	経過 年数	ポンプ 性 能	ポンプ 社 名
東部分団	1号車	普通ポンプ車	トヨタ	14年 2月	豊橋830と 1 1 9	17	A-2	日本ドライ
	2号車	普通ポンプ車	日野	22年 1月	豊橋800さ 8 4 7 1	9	A-2	モリタ
神戸分団	1号車	普通ポンプ車	トヨタ	29年 1月	豊橋800す 9 4 7	2	A-2	モリタ
	2号車	普通ポンプ車	トヨタ	12年12月	豊橋830ち 1 1 9	18	A-2	日本ドライ
	3号車	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	26年 2月	豊橋800さ 9 8 9 6	5	B-2	トーハツ
南部分団	1号車	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	23年 2月	豊橋800さ 8 9 0 2	8	B-2	トーハツ
	2号車	普通ポンプ車	トヨタ	10年12月	豊橋800さ 6 2 4	20	A-2	日本機械
野田分団	1号車	普通ポンプ車	トヨタ	15年 2月	豊橋830に 1 1 9	16	A-2	日本ドライ
	2号車	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	27年11月	豊橋800す 4 8 4	3	B-2	トーハツ
中部分団	1号車	普通ポンプ車	トヨタ	25年12月	豊橋800さ 9 8 5 3	5	A-2	モリタ
	2号車	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	23年 2月	豊橋800さ 8 9 0 1	8	B-2	トーハツ
童浦分団	1号車	普通ポンプ車	トヨタ	11年 7月	豊橋800さ 1 1 8 4	19	A-2	日本機械
	2号車	普通ポンプ車	トヨタ	10年12月	豊橋800さ 6 2 5	20	A-2	日本機械
赤羽根分団	1号車	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	30年 1月	豊橋800す 1 3 8 2	1	B-2	トーハツ
	2号車	普通ポンプ車	トヨタ	16年 2月	豊橋800さ 5 1 8 3	15	A-2	モリタ
	3号車	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	31年 1月	豊橋800す 1 7 5 6	0	B-2	トーハツ
泉分団	1号車	普通ポンプ車	トヨタ	25年12月	豊橋800さ 9 8 5 2	5	A-2	モリタ
	2号車	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	14年 9月	豊橋800さ 4 1 5 1	16	B-2	シバウラ
福江分団	1号車	普通ポンプ車	トヨタ	24年 3月	豊橋800さ 9 2 5 2	7	A-2	モリタ
	2号車	普通ポンプ車	トヨタ	26年11月	豊橋800す 1 6 4	4	A-2	モリタ
	3号車	小型動力ポンプ 付軽自動車	ダイハツ	26年 3月	豊橋880あ 4 4 5	5	B-2	トーハツ
	4号車	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	25年 1月	豊橋800さ 9 5 4 1	6	B-2	トーハツ
伊良湖岬分団	1号車	普通ポンプ車	日野	22年 1月	豊橋800さ 8 4 7 2	9	A-2	モリタ
	2号車	多機能型 消防車	いすゞ	25年 2月	豊橋800さ 9 5 9 0	6	B-2	トーハツ
	3号車	多機能型 消防車	トヨタ	27年 2月	豊橋800す 2 5 6	4	B-2	トーハツ

消 防 水 利

(平成31年4月1日現在)

種別 区域別	防火水槽 (40 m ³ 以上)	消火栓 (150φ以上)	プール	計
東 部	75	52	2	129
神 戸	93	49	3	145
南 部	53	33	2	88
野 田	53	47	2	102
中 部	57	78	4	139
童 浦	54	107	1	162
赤羽根	82	41	4	127
泉	56	43	2	101
福 江	127	55	6	188
伊良湖岬	81	32	3	116
合 計	731	537	29	1,297

* 私設の防火水槽及び私設のプールは除く

消 防 職 員 配 置 状 況

(平成31年4月1日現在)

定 数	1 2 6 人
実 員	1 1 3 人

階級別 所属別		消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	合計
消防本部	消 防 長	1							1
	次長兼消防課長		1						1
	消 防 課				2	2			4
	消 防 係			1	1	2		1	5
	予 防 課 長		1						1
	予 防 危 険 物 係			1	1	2		1	5
	小 計	1	2	2	4	6		2	17
消防署	消 防 署 長		1						1
	指 揮 隊 長		3						3
	指 揮 第 1 係			1		1		1	3
	指 揮 第 2 係				2			1	3
	指 揮 第 3 係			1		1		1	3
	警 防 第 1 係			1	2	3		5	11
	警 防 第 2 係			1	3	2		5	11
	警 防 第 3 係				3	3		5	11
	小 計		4	4	10	10		18	46
赤羽根分署	分 署 長		1						1
	警 防 第 1 係			1	2	1		2	6
	警 防 第 2 係				2	1		3	6
	警 防 第 3 係				2	2		2	6
	小 計		1	1	6	4		7	19
渥美分署	分 署 長		1						1
	警 防 第 1 係			1	3	2		4	10
	警 防 第 2 係			1	3	2		4	10
	警 防 第 3 係			1	2	2		5	10
	小 計		1	3	8	6		13	31
合 計		1	8	10	28	26		40	113

消 防 職 員 特 技 資 格

(平成31年4月1日現在)

種 別 \ 階級別	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	合計
大型自動車第1種免許	1	8	9	26	27		18	89
中型自動車免許			1	2			7	10
準中型自動車免許							5	5
普通自動車第1種免許	1	8	10	28	26		40	113
小型船舶操縦士免許	1	6	5	22	18		5	57
特殊小型船舶操縦士免許		3	5	12	7			27
救急救命士免許		4	2	16	7		5	34
救急科講習（標準・Ⅱ課程）修了証	1	4	8	12	19		23	67
特殊無線技士免許	1	7	10	28	26		32	104
小型移動式クレーン修了証	1	8	9	26	23		13	80
玉掛け技能修了証	1	8	10	26	26		24	95
潜waters免許	1	4	8	24	24		14	75
危険物取扱者免状	1	7	4	7	11		3	33
消防設備士免状			1		1			2
酸欠・硫化水素危険作業主任者修了証			1	4	2		1	8

消 防 職 員 年 齢

(平成31年4月1日現在)

階級別 種 別	消 防 監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	合 計
22歳未満							11	11
22 歳							7	7
23 歳							4	4
24 歳							2	2
25 歳							5	5
26 歳							3	3
27 歳							1	1
28 歳							3	3
29 歳							2	2
30 歳							2	2
31 歳					3			3
32 歳					4			4
33 歳					3			3
34 歳					1			1
35 歳								
36 歳					1			1
37 歳					4			4
38 歳					2			2
39 歳					4			4
40 歳					2			2
41 歳				4				4
42 歳				3				3
43 歳				3				3
44 歳				2	1			3
45 歳			1	2				3
46 歳			2	4				6
47 歳			1	3				4
48 歳				2				2
49 歳			1	1	1			3
50 歳			1	1				2
51 歳		1	1					2
52 歳								
53 歳			1	1				2
54 歳		1		2				3
55 歳			1					1
56 歳		2	1					3
57 歳		1						1
58 歳	1							1
59 歳		3						3
60 歳								
合 計	1	8	10	28	26		40	113

36.6歳

消 防 職 員 勤 続 年 数

(平成31年4月1日現在)

階級別 種 別	消 防 監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	合 計
1年未満							8	8
1年							6	6
2年							3	3
3年							4	4
4年							4	4
5年							4	4
6年							8	8
7年					1		1	2
8年					3		1	4
9年					3			3
10年					3		1	4
11年					1			1
12年								
13年					1			1
14年					1			1
15年					2			2
16年								
17年					1			1
18年					3			3
19年			1	3	2			6
20年				3	2			5
21年			1	2	2			5
22年				1				1
23年								
24年			1	1				2
25年			1	5				6
26年				4	1			5
27年				1				1
28年				2				2
29年			1	2				3
30年				1				1
31年		1	1					2
32年		1						1
33年			1					1
34年		1		1				2
35年			1					1
36年		1		2				3
37年			1					1
38年			1					1
39年		1						1
40年	1							1
41年		3						3
合 計	1	8	10	28	26		40	113

火

災

火 災 概 要

(平成30年)

	合 計
火 災 件 数	30 件
建 物 火 災 件 数	14 件
林 野 火 災 件 数	2 件
車 両 火 災 件 数	1 件
船 舶 火 災	0 件
そ の 他 火 災 件 数	13 件
建 物 焼 損 面 積	709 m ²
林 野 焼 損 面 積	4 a
焼 損 棟 数	22 棟
損 害 額	58,090 千円
り 災 世 帯 数	17 世帯
り 災 人 数	48 人
死 者 数	0 人
負 傷 者 数	0 人

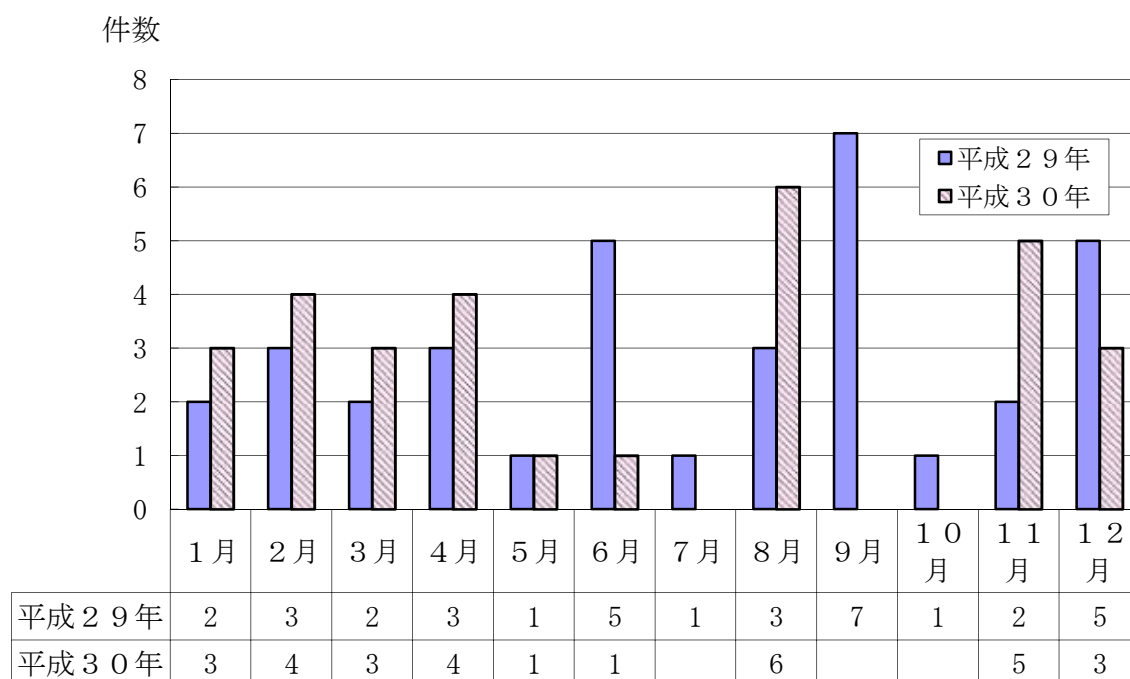
分 団 区 域 別 火 災 件 数

(平成30年)

分 団 区域名	件数	内 訳		損害額 (千円)	分 団 区域名	件数	内 訳		損害額 (千円)
		種別	件数				種別	件数	
東 部	4	建物	2	8,276	童 浦	2	建物	1	1,587
		林野	1				車両	1	
		その他	1						
神 戸	4	建物	2	10,734	赤羽根	3	建物	2	268
		その他	2				その他	1	
南 部	2	建物	1	454	泉	1	その他	1	
		その他	1						
野 田	0				福 江	5	建物	3	8,569
							その他	2	
中部	4	建物	2	28,079	伊良湖 岬	5	建物	1	123
		その他	2				林野	1	
							その他	3	

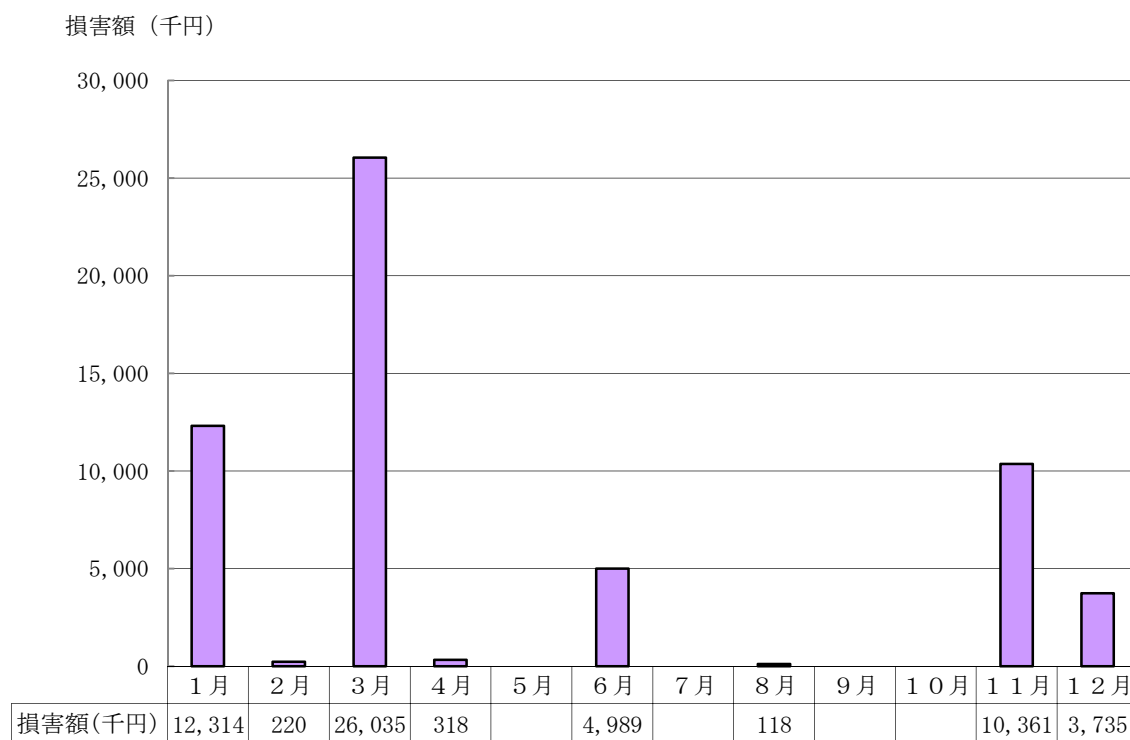
月別出火件数

(平成30年)



月別火災損害額

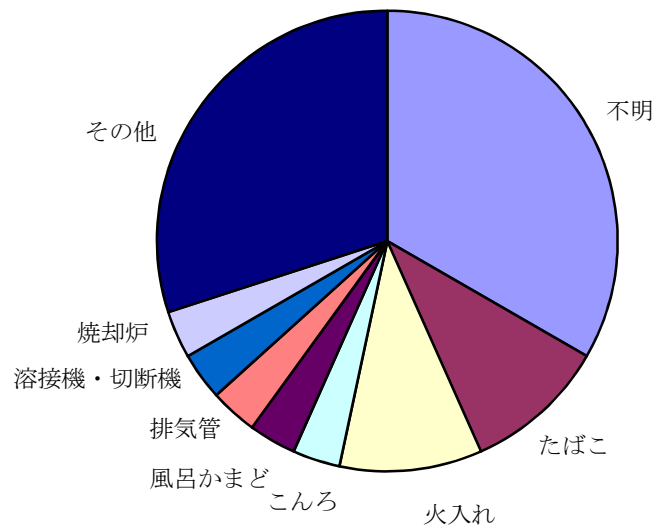
(平成30年)



原因別火災発生状況

(平成30年)

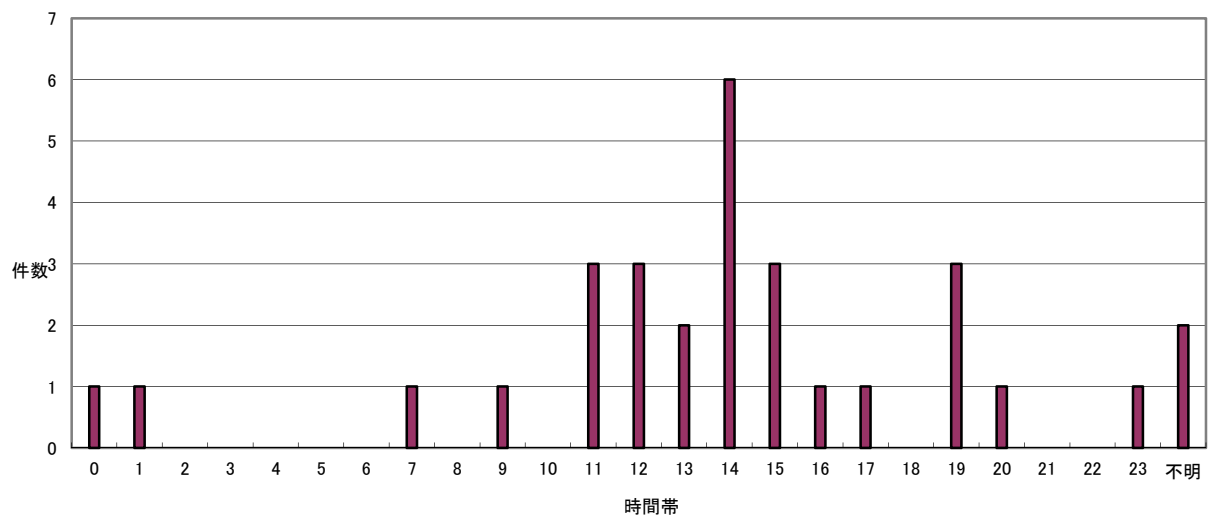
火災30件



たばこ	3	火入れ	3	こんろ	1	風呂かまど	1
排気管	1	溶接機 切断機	1	焼却炉	1	不明	10
その他	9						

時間別火災発生状況

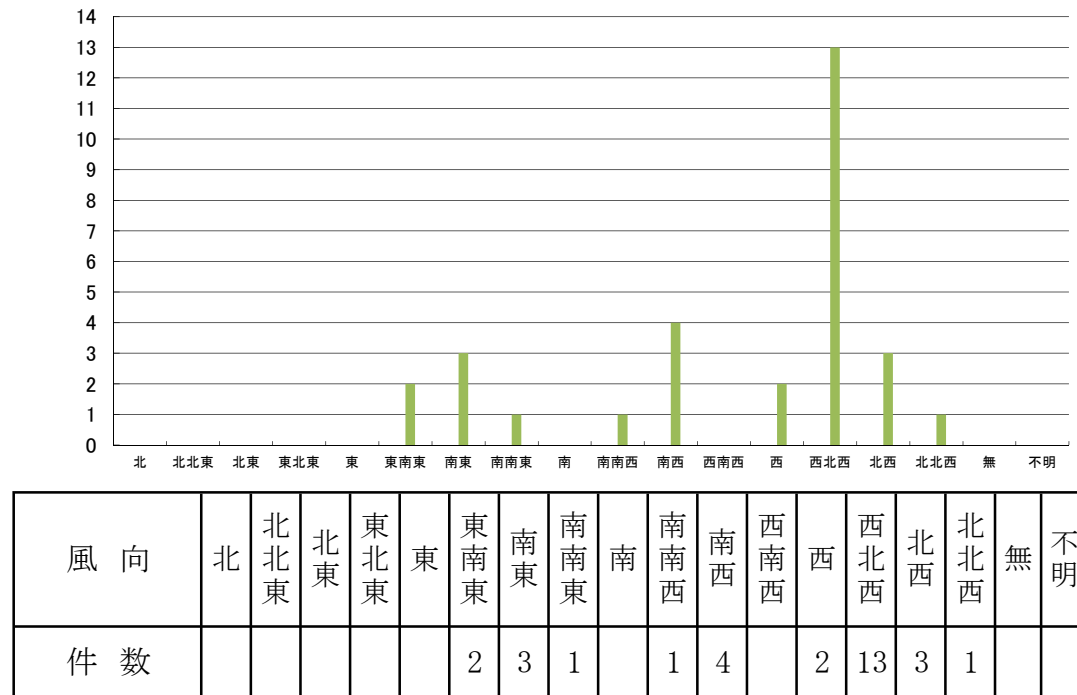
(平成30年)



時間帯	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	不明
件数	1	1						1		1		3	3	2	6	3	1	1		3	1			1	2

風向別火災発生状況

(平成30年)



過去5年間の火災発生状況

年別	火災件数						建物焼損 面積 (㎡)	林野焼損 面積 (a)	損害額 (千円)	り災 世帯	り災 人員	死者 (人)	負傷者 (人)
	計	建物	林野	車両	船舶	その他							
26	36	15		1	1	19	388		82,352	9	23	2	1
27	21	6		3	1	11	263		61,100	6	7	1	2
28	17	8		1		8	135		24,699	3	8		2
29	35	10		5		20	489		12,420	2	4	2	1
30	30	14	2	1		13	709	4	58,090	17	48		

火 災 発 生 状 況

(平成30年)

番号	覚知日時		出火場所	種別	出火原因	主なり災物件	焼損程度
1	1/3	12:36	神戸町	建物	不明	住宅	全焼
2	1/7	0:47	御殿山	建物	たばこ	住宅	部分焼
3	1/29	13:59	浦町	車両	その他	車両	—
4	2/5	12:28	小中山町	その他	その他	まき、たきつけ	—
5	2/14	15:43	六連町	林野	不明	保安林	—
6	2/24	16:01	西神戸町	その他	その他	枯草	—
7	2/28	23:42	片西	建物	不明	共同住宅	ぼや
8	3/1	20:50	神戸町	建物	風呂かまど	住宅	部分焼
9	3/2	7:57	池尻町	その他	排気管	ビニールハウス	—
10	3/16	23:56	田原町	建物	たばこ	住宅	全焼
11	4/3	15:05	加治町	その他	不明	竹藪	—
12	4/10	17:26	神戸町	その他	不明	竹藪	—
13	4/11	19:25	田原町	その他	溶接機・切断機	焼損物残渣	—
14	4/18	15:03	小中山町	その他	不明	ビニールハウス	—
15	5/28	7:40	田原町	その他	不明	落ち葉	—
16	6/15	1:49	保美町	建物	不明	共同住宅	部分焼
17	8/11	14:33	堀切町	その他	その他	ゴミ	—
18	8/18	11:39	若見町	建物	その他	堆肥場	部分焼
19	8/22	15:43	六連町	その他	火入れ	—	—
20	8/27	16:25	堀切町	建物	不明	洗濯場の壁及び収容物	部分焼
21	8/29	20:02	伊川津町	その他	その他	ゴミ	—
22	8/30	11:41	伊良湖町	林野	火入れ	保安林	—
23	11/3	15:05	小塩津町	その他	その他	トレー	—
24	11/4	19:32	古田町	建物	こんろ	ガスコンロ	ぼや
25	11/5	13:09	相川町	建物	その他	工場の天井 乾燥設備	部分焼
26	11/12	15:11	赤羽根町	建物	その他	堆肥	ぼや
27	11/19	14:07	田原町	建物	たばこ	住宅	半焼
28	12/3	15:51	堀切町	その他	焼却炉	木製パレット プラスチックトレー	—
29	12/16	12:55	大久保町	建物	火入れ	物置 バイク	部分焼
30	12/21	9:41	中山町	建物	不明	住宅	半焼

救急・救助

過 去 5 年 間 の 救 急 件 数

事故種別 年別	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
26年	6		12	190	27	9	342	5	23	1,490	137	2,241
27年	1		22	201	25	9	317	5	22	1,639	135	2,376
28年			13	170	25	20	393	3	23	1,484	114	2,245
29年	8		14	169	22	23	344	4	11	1,541	104	2,240
30年	16	1	23	166	32	20	362	8	19	1,695	147	2,489

曜 日 別 救 急 出 動 件 数

(平成30年)

事故種別 曜日別	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
月	3		3	24	4	2	62		5	263	24	390
火			7	26	5	3	55		2	238	20	356
水	2		2	29	8	3	39	3	1	232	21	340
木	1		2	23	9	1	46		5	223	22	332
金	3		2	23	2		47	1	2	238	30	348
土	3		3	20	3	3	50	2	2	226	16	328
日	4	1	4	21	1	8	63	2	2	275	14	395
合 計	16	1	23	166	32	20	362	8	19	1,695	147	2,489

分 団 区 域 別 救 急 出 場 件 数

(平成30年)

月分 区域別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
東 部	23	12	18	9	10	10	9	19	18	13	17	15	173
神 戸	31	36	31	22	23	22	32	28	17	28	19	22	311
南 部	18	7	6	10	6	12	10	19	7	9	10	14	128
野 田	14	8	8	5	5	7	15	13	3	9	8	6	101
中 部	33	34	24	24	27	29	31	26	31	23	33	37	352
童 浦	15	20	19	17	21	18	24	33	20	18	20	15	240
赤羽根	17	21	25	21	15	25	27	39	26	20	17	24	277
泉	48	43	52	36	43	39	55	57	41	41	53	46	554
福 江	15	21	11	6	11	16	19	11	20	11	11	11	163
伊良湖岬	13	25	13	19	13	16	16	21	13	8	12	19	188
管轄外							1	1					2
合 計	227	227	207	169	174	194	239	267	196	180	200	209	2,489

事 故 別 搬 送 人 員 の 傷 病 程 度

(平成30年)

事故種別 程度別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
死 亡			2	4	2		2		4	71	1	86
重 症				2			2			23	9	36
中等症			3	36	9	2	165		7	717	84	1,023
軽 症		1	5	130	20	17	184	6	3	794	32	1,192
その他												
合 計		1	10	172	31	19	353	6	14	1,605	126	2,337

月 別 救 急 件 数

(平成30年)

事故種別 月別		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
1月	出場件数	2			10	1	2	17	2	4	179	10	227
	搬送人員				10	1	2	17	1	3	172	8	214
2月	出場件数			1	4	2	2	33		2	166	17	227
	搬送人員				4	2	2	32		2	151	17	210
3月	出場件数	2			9	1	4	31		2	142	16	207
	搬送人員				11	1	4	30		2	134	15	197
4月	出場件数	2			10	2		18			128	9	169
	搬送人員				9	2		18			120	9	158
5月	出場件数			1	17	4	2	21		3	112	14	174
	搬送人員				18	4	2	22		2	107	11	166
6月	出場件数	1		2	15	1		27		1	137	10	194
	搬送人員			1	15	1		26		1	134	10	188
7月	出場件数	2	1	3	13	3	1	43	1	1	163	8	239
	搬送人員		1	2	15	3	1	40	1		155	7	225
8月	出場件数	1		8	30	8	2	39	4		167	8	267
	搬送人員			5	31	8	2	38	4		159	8	255
9月	出場件数			3	16	2	3	31		1	132	8	196
	搬送人員			1	16	2	2	31		1	127	4	184
10月	出場件数				13	2	1	27		2	114	21	180
	搬送人員				14	2	1	26		1	104	14	162
11月	出場件数	3		1	16		1	39	1	1	126	12	200
	搬送人員			1	15		1	38			121	11	187
12月	出場件数	3		4	13	6	2	36		2	129	14	209
	搬送人員				14	5	2	35		2	121	12	191
合計	出場件数	16	1	23	166	32	20	362	8	19	1,695	147	2,489
	搬送人員		1	10	172	31	19	353	6	14	1,605	126	2,337

年 齢 区 分 別 搬 送 人 員

(平成30年)

事故種別 年齢区分	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
新生児										1		1
乳幼児			1	2			23			69	4	99
少 年				15		11	8	1	1	42	4	82
成 人		1	8	86	22	8	81	3	11	419	43	682
高齢者			1	69	9		241	2	2	1,074	75	1,473
合 計		1	10	172	31	19	353	6	14	1,605	126	2,337

覚 知 時 間 別 救 急 出 場 件 数

(平成30年)

事故種別 時間	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
0～2時	3	1		2	1		8	3		89	4	111
2～4時				2	1		7			92	2	104
4～6時				6			14			74	1	95
6～8時			3	22	1		36	1	4	150	1	218
8～10時	1		3	26	5	3	47		4	208	20	317
10～12時	1		4	18	6	6	43		3	190	29	300
12～14時	3		7	25	7	4	55	2	7	173	17	300
14～16時	2		2	23	4	3	41		1	134	19	229
16～18時			3	19	3	2	35			144	25	231
18～20時	2			14	1	1	28			185	18	249
20～22時	2		1	7	2	1	34	1		143	5	196
22～24時	2			2	1		14	1		113	6	139
合 計	16	1	23	166	32	20	362	8	19	1,695	147	2,489

現 場 到 着 所 要 時 間 別 出 場 件 数

時間 \ 年別	26 年	27 年	28 年	29 年	30 年
3 分未満	174	169	175	175	167
3 ～ 5 分	220	227	186	105	133
5 ～10分	1, 334	1, 377	1, 275	1, 291	1404
10～20分	501	588	594	651	762
20分以上	12	15	15	18	23
合 計	2, 241	2, 376	2, 245	2, 240	2, 489
平均時間 (分)	7. 6	7. 8	7. 9	7. 9	8. 1

収 容 所 要 時 間 別 搬 送 人 員

時間 \ 年別	26 年	27 年	28 年	29 年	30 年
10分未満					
10～20分	133	99	77	79	80
20～30分	697	676	567	585	577
30～60分	1, 211	1, 334	1, 341	1, 327	1506
60分以上	113	164	178	167	174
合 計	2, 154	2, 273	2, 163	2, 158	2, 337
平均時間 (分)	35. 8	37. 0	38. 5	38. 1	38. 6

過 去 5 年 間 の 救 助 件 数

事故種別 年 別	火 災		交通事故	水難事故	自然災害事故	機械による事故	建物による事故	ガス・酸欠事故	破裂事故	その他	合 計
	建 物	建物以外									
26年	2		15	6		4	1			10	38
27年	1		21	18		2	3			4	49
28年			18	10		2	4			7	41
29年	2		13	12			2			13	42
30年			12	18		3	3			6	42

事 故 別 救 助 件 数

(平成30年)

事故種別		火 災		交通事故	水難事故	自然災害事故	機械による事故	建物による事故	ガス・酸欠事故	破裂事故	その他	合 計
		建 物	建物以外									
件数				12	18		3	3			6	42
活動件数				9	9		1	1			4	24
救助人員				10	11		1	1			4	27
活動人員				92	90		13	10			37	242
出 動 車 両	救助工作車			8	9		2	3			4	26
	ポンプ車			11	16		3				4	34
	化 学 車			2								2
	はしご車											
	救 急 車			17	20		3	3			7	50
	そ の 他			14	49		4	3			10	80

分 団 区 域 別 救 助 件 数

(平成30年)

事故種別 地区別	火 災		交通事故	水難事故	自然災害事故	機械による事故	建物による事故	ガス・酸欠事故	破裂事故	その他	合 計
	建 物	建物以外									
東 部			2	1		1					4
神 戸			2				1				3
南 部							1			2	3
野 田			2								2
中 部				1						1	2
童 浦			1	2			1			1	5
赤羽根			1	10		2					13
泉			1								1
福 江			3	4						2	9
伊良湖岬											
管轄外											
合 計			12	18		3	3			6	42

時間帯別救助件数

(平成30年)

事故種別 発生時間	火 災		交通事故	水難事故	自然災害事故	機械による事故	建物による事故	ガス・酸欠事故	破裂事故	その他	合計
	建物	建物以外									
0～1時											
1～2時						1					1
2～3時											
3～4時							1				1
4～5時			1								1
5～6時			1								1
6～7時				3			1				4
7～8時			2			1				1	4
8～9時				2							2
9～10時			1				1				2
10～11時				2							2
11～12時			1	1						1	3
12～13時				2							2
13～14時			3	4						1	8
14～15時			1	2							3
15～16時			2								2
16～17時				1		1				2	4
17～18時											
18～19時											
19～20時										1	1
20～21時				1							1
21～22時											
22～23時											
23～24時											
合 計			12	18		3	3			6	42

予防・危険物

防火管理者を必要とする防火対象物数

(平成31年4月1日現在)

防火対象物の区分			甲種	乙種	対象物数計
(1)	イ	劇場、映画館等			
	ロ	公会堂、集会場	56	48	104
(2)	イ	キャバレー等		1	1
	ロ	遊技場等	3		3
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等			
	ニ	カラオケボックス等			
(3)	イ	料理店等			
	ロ	飲食店	39	42	81
(4)		百貨店、マーケット、店舗等	52	33	85
(5)	イ	旅館、ホテル等	32	1	33
	ロ	寄宿舍、共同住宅等	82	1	83
(6)	イ	病院・診療所・助産所	6		6
	ロ	特別養護老人ホーム等	13	1	14
	ハ	老人デイサービスセンター・保育園等	35	3	38
	ニ	幼稚園・特別支援学校			
(7)		小学校、中学校、高等学校等	31	6	37
(8)		図書館、博物館、美術館等	4	1	5
(9)	イ	蒸気浴場、熱気浴場等			
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場			
(10)		停車場、発着場等			
(11)		神社、寺院、教会等	22	4	26
(12)	イ	工場、作業場	15	3	18
	ロ	映画、テレビスタジオ			
(13)	イ	車庫、駐車場	1		1
	ロ	航空機等の格納庫			
(14)		倉庫	4		4
(15)		その他の事業所	40	3	43
(16)	イ	特定複合用途建物	60	4	64
	ロ	その他の複合用途建物	5		5
(16の2)		地下街			
(17)		重要文化財等			
合 計			500	151	651

分 団 区 域 別 防 火 対 象 物 数 (150㎡以上)

(平成31年4月1日現在)

防火対象物の区分			区域別	東 部	神 戸	南 部	野 田	中 部	童 浦	赤 羽 根	泉	福 江	伊 良 湖 岬	合 計
(1)	イ	劇場、映画館等												
	ロ	公会堂、集会場		9	12	4	11	16	10	8	8	19	7	104
(2)	イ	キャバレー等										1		1
	ロ	遊技場等			1			1				2		4
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等												
	ニ	カラオケボックス等												
(3)	イ	料理店等												
	ロ	飲食店		4	10	4	5	18	6	8	3	18	6	82
(4)		百貨店、マーケット、店舗等		8	21	9	3	21	6	10	4	26	4	112
(5)	イ	旅館、ホテル等		2				2	4	1	3	12	20	44
	ロ	寄宿舎、共同住宅等		7	69	44	6	138	85	11	3	45	7	415
(6)	イ	病院・診療所・助産所		2	6	6		6			2	4		26
	ロ	特別養護老人ホーム等		3	1		1	5	2	1	1	3		17
	ハ	老人デイサービスセンター・保育園等		4	4	8	1	7	3	7	1	11	5	51
	ニ	幼稚園・特別支援学校												
(7)		小学校、中学校、高等学校等		5	10	24	6	21	4	13	8	20	12	123
(8)		図書館、博物館、美術館等					1	3	1			2		7
(9)	イ	蒸気浴場、熱気浴場等												
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場											1	1
(10)		停車場、発着場等						1						1
(11)		神社、寺院、教会等		8	6	2	12	13	4	1	4	8	3	61
(12)	イ	工場、作業場		31	34	25	18	18	146	17	15	63	13	380
	ロ	映画、テレビスタジオ												
(13)	イ	車庫、駐車場			2	5	1	9	2	1		1		21
	ロ	航空機等の格納庫												
(14)		倉庫		25	23	20	9	31	69	15	11	61	21	285
(15)		その他の事業所		18	24	21	14	42	130	19	14	50	14	346
(16)	イ	特定複合用途建物		6	14	8	4	34	4	6	3	11	13	103
	ロ	その他の複合用途建物		9	10	5	3	18	5	1	1	4		56
(16の2)		地下街												
(17)		重要文化財等												
合 計				141	247	185	95	404	481	119	81	361	126	2240

3 階 以 上 の 防 火 対 象 物 数

(平成31年4月1日現在)

区域別 階 別	東 部	神 戸	南 部	野 田	中 部	童 浦	赤 羽 根	泉	福 江	伊 良 湖 岬	合 計
3 階	5	19	11	4	69	24	11	6	32	9	190
4 階		14	4		8	22	1		4	8	61
5 階		1	1		3	10			1	2	18
6 階		1	1		3	4			1	1	11
7 階		2								1	3
8 階			1		1						2
9 階		1									1
10階					1						1
11階										1	1
合 計	5	38	18	4	85	60	12	6	38	22	288

火 災 予 防 の 普 及 指 導 状 況

(平成30年度)

区 分	上段欄：実施回数 下段欄：（ ）参加人数
防 火 指 導	81回 (6276人)
消 防 署 見 学	18回
広 報 ・ 回 覧	2回
市内放送（同報装置）	6回
ポスター掲示・配布	6回

消 防 用 設 備 等 着 工 ・ 設 置 届 状 況

(平成30年度)

区 分	設 置	着 工
自 動 火 災 報 知 設 備	50	43
誘 導 灯 設 備	17	18
非 常 警 報 設 備	4	6
避 難 器 具 設 備	3	1
屋 内 消 火 栓 設 備	7	5
屋 外 消 火 栓 設 備	1	1
ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	3	3
ハ ロ ゲ ン 化 物 消 火 設 備		
不 活 性 ガ ス 消 火 設 備		
水 噴 霧 消 火 設 備	1	1
泡 消 火 設 備		2
粉 末 消 火 設 備	1	
火 災 通 報 装 置	7	5
消 防 用 水		
消 火 器 具	20	
連 結 送 水 管	1	
連 結 散 水 設 備		
パ ッ ケ ー ジ 型 消 火 設 備	2	
住 戸 用 自 動 火 災 報 知 設 備		
共 同 住 宅 用 非 常 警 報 設 備		
合 計	117	85

用途別建築同意件数

(平成30年度)

月別 用途別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
住宅	2	2		2	1		2	1	1	3	2	1	17
集会所		2											2
遊技場													
飲食店	1												1
店舗				1	1	1			1	1			5
旅館等													
共同住宅等													
病院等				1	1					1			3
福祉施設			1	1					1	1			4
学校													
博物館等													
浴場等													
駅舎等													
神社等													
工場等		1	1	2	1	1				1	1		8
車庫等													
倉庫				2		2		3	2				9
事業所等	1		3	1	2	1	2	3				1	14
特定複合						1			1	1			3
その他複合													
畜舎				1	2	1			1		2		7
その他	3	2	1	1	4		3	2	4	5	2	6	33
合計	7	7	6	12	12	7	7	9	11	13	7	8	106
通知書	20	13	19	18	22	15	30	17	25	17	32	35	263

工事別建築同意件数

(平成30年度)

月別 用途別		(平成30年度)												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新築	同 意	7	7	6	12	12	7	7	9	10	12	6	8	103
	通知書	17	9	12	12	20	13	21	13	16	17	26	31	207
増築	同 意										1	1		2
	通知書	3	4	7	6	2	2	9	4	9		6	4	56
その他	同 意									1				1
	通知書													
合計	同 意	7	7	6	12	12	7	7	9	11	13	7	8	106
	通知書	20	13	19	18	22	15	30	17	25	17	32	35	263

分 団 区 域 別 危 険 物 施 設 数

(平成31年4月1日現在)

施設別 \ 区域別		東 部	神 戸	南 部	野 田	中 部	童 浦	赤 羽 根	泉	福 江	伊 良 湖 岬	合 計
製 造 所												
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	1		2	1		15	1		11	1	32
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	9	7	4	3		26	3	9	32	1	94
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所					1	17			1		19
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	1	4	1		10	11	4	1	7	6	45
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	1			1						1	3
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	1	7	3				7	2	11		31
	屋 外 貯 蔵 所		2				1					3
取 扱 所	給 油 取 扱 所	3	5	4	3	3	17	4	2	12	3	56
	第 1 種 販 売 取 扱 所											
	第 2 種 販 売 取 扱 所											
	移 送 取 扱 所									2		2
	一 般 取 扱 所	2	4	1		2	32	3	2	11	2	59
合 計		18	29	15	8	16	119	22	16	87	14	344

過去１０年間の危険物施設の推移

施設別 年度別	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所	合 計
21	26	121	23	50	3	42	4	66	2	72	409
22	27	120	23	50	3	41	6	66	2	71	409
23	28	113	23	51	2	37	5	64	2	71	396
24	28	108	23	49	2	37	4	64	2	68	385
25	27	107	18	49	2	34	4	63	2	67	373
26	29	103	18	48	3	32	4	61	2	62	362
27	31	100	18	48	3	33	4	57	2	61	357
28	30	101	18	45	3	34	3	57	2	60	353
29	31	101	18	45	3	32	3	56	2	59	350
30	32	94	19	45	3	31	3	56	2	59	344

倍数別・類別危険物施設数

(平成31年4月1日現在)

施設別 区分	製造所	貯蔵所								取扱所						合計
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	小計	
5倍以下		15	15	12	20	3	30	2	97	1				20	21	118
5倍を超え 10倍以下		9	15	5	14			1	44	3				15	18	62
10倍を超え 50倍以下		7	33	2	5		1		48	15				14	29	77
50倍を超え 100倍以下			5		2				7	7				4	11	18
100倍を超え 150倍以下		1			1				2	11				2	13	15
150倍を超え 200倍以下			3		1				4	11				2	13	17
200倍を超え 1,000倍以下			12		2				14	7				1	8	22
1,000倍を超え 5,000倍以下			3						3	1			1		2	5
5,000倍を超え 10,000倍以下																
10,000倍を超えるもの			8						8				1	1	2	10
合計		32	94	19	45	3	31	3	227	56			2	59	117	344
第1類																
第2類																
第3類																
第4類		31	94	19	45	3	31	3	226	56			2	59	117	343
第5類																
第6類																
混在		1							1							1
合計		32	94	19	45	3	31	3	227	56			2	59	117	344

危険物施設許可・検査・承認状況

(平成30年度)

区分 施設別		許可		完成検査		完 検 前	成 査 査	承認	保安 検査
		設置	変更	設置	変更	設置	変更	仮使用	
製造所									
貯蔵所	屋内貯蔵所	2							
	屋外タンク貯蔵所		2	1	3		1		
	屋内タンク貯蔵所	1	1	1	1			1	
	地下タンク貯蔵所	1	2	1	2			2	
	簡易タンク貯蔵所								
	移動タンク貯蔵所	1	1	1	1				
	屋外貯蔵所								
取扱所	給油取扱所		11		11		1	11	
	第1種販売取扱所								
	第2種販売取扱所								
	移送取扱所								
	一般取扱所	1	90	1	78			90	
合計		6	107	5	96		2	104	

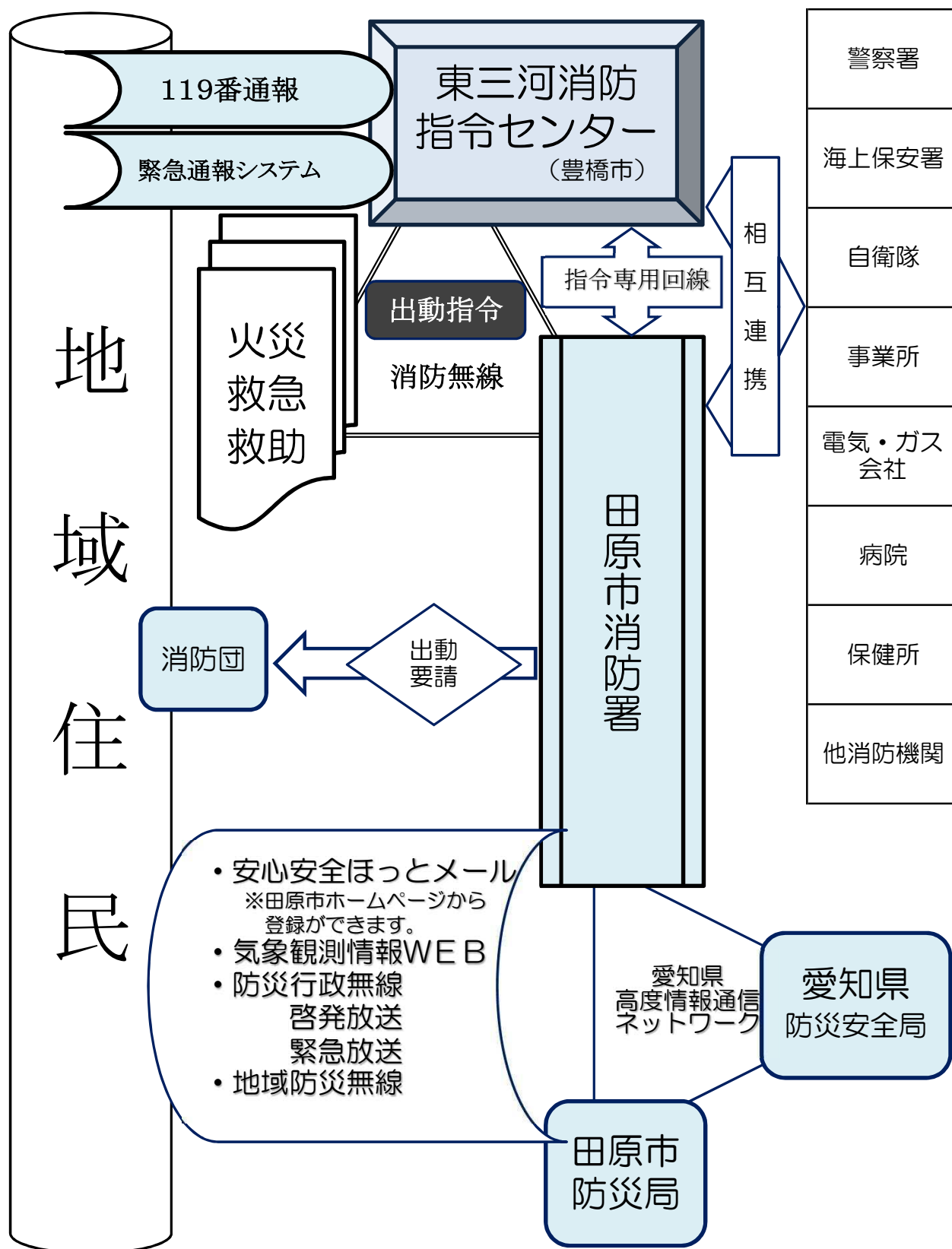
諸 届 出 状 況

(平成30年度)

届 出 区 分	件 数
防 火 対 象 物 使 用 開 始	9
水 素 ガ ス を 充 て ん す る 気 球	
火 災 と ま ぎ ら わ し い 行 為	67
煙 火 打 上 げ ・ 仕 掛 け	37
道 路 工 事	396
少 量 危 険 物 貯 蔵 ・ 取 扱 い 開 始 (廃 止)	33
圧 縮 ア セ チ レ ン ガ ス 等 貯 蔵 ・ 取 扱 い 開 始 (廃 止)	18
指 定 可 燃 物 貯 蔵 ・ 取 扱 い 開 始 (廃 止)	6
催 し 物 開 催	1
炉 ・ ボ イ ラ ー 等 設 置	10
変 電 ・ 発 電 ・ 蓄 電 池 設 備 設 置	33
禁 止 行 為 の 解 除 承 認	
防 火 管 理 者 選 任 (解 任)	100
消 防 計 画 作 成 (変 更)	100
消 防 用 設 備 等 点 検 報 告	669
防 火 対 象 物 定 期 点 検 報 告	51
保 安 統 括 管 理 者 選 任 (解 任)	
保 安 監 督 者 選 任 (解 任)	49
危 険 物 製 造 所 等 廃 止	5
危 険 物 施 設 の 設 置 者 等 の 変 更	28
危 険 作 業 開 始	5
資 料 提 出	136
危 険 物 製 造 所 等 休 止 (再 開)	5
危 険 物 製 造 所 等 譲 渡 (引 渡)	3
危 険 物 製 造 所 等 指 定 数 量 の 倍 数 変 更	9
合 計	1770

通 信

消防防災ネットワーク



通 信 施 設 の 保 有 状 況

(平成31年4月1日現在)

種 別		数	摘 要		
電話回線	一般加入電話	10	★代表電話 4 F A X 3 ★順次指令用 2 ★災害案内用 1 ★印はISDN回線		
	携帯電話	12	消防本部 1 消防署 2 赤羽根分署 1 渥美分署 2 指揮車 1 救急車 5		
	衛星携帯電話	3	消防署 1 赤羽根分署 1 渥美分署 1		
愛知県 高度情報通信 ネットワーク	無線固定局	1	※ぼうさいたはらしょうぼう（消防署）		
	衛星回線	1	消防署（受令機）		
消防用無線	基地局	デジタル	3	※たはらしょうぼうあかばね	
			3	※たはらしょうぼうあつみ	
			※とよはししょうぼう（共同運用）		
		アナログ	2	※ぼうたいたはらきち	
				※ぼうたいあつみきち	
	陸上 移動局	半固定	デジタル	4	消防本部 1 消防署 1 赤羽根分署 1 渥美分署 1
		車載	デジタル	25	消防本部 3 消防署 1 2 赤羽根分署 5 渥美分署 5
			デジタル・ アナログ兼用	6	消防署 1 渥美分署 5 （アナログは防災相互波）
		携帯	デジタル	44	消防本部 1 3 消防署 1 5 赤羽根分署 6 渥美分署 1 0
			アナログ	3	防災相互波（渥美分署）
		車載	デジタル	25	消防団（受令機）
		携帯	デジタル	19	消防団（受令機）

※印は無線の呼び出し名称

1 1 9 番 着 信 状 況

(平成30年)

種別 月別	火 災	救 急	救 助	その他 災害	その他	いたずら	医療 情報	問合せ	間違い	テスト	訓 練	転 送	合 計
1 月	6	227	1	2	4	2	4	15	19	77	2		359
2 月	2	231	3	2	3	2	1	8	37	6		3	298
3 月	7	209	2	2	4	1	1	13	17	13	5		274
4 月	7	178			2			6	18	16	1	1	229
5 月		174	4	1	3	1		7	17	10	8		225
6 月	2	192	2	4	1	2	3	7	24	11	9		257
7 月	1	234	6	6	9		2	17	38	32	2		347
8 月	4	258	4	3	7		2	11	26	45	2	1	363
9 月	1	196	5			1	6	14	24	17	7		271
10月		172	1	4	1			6	27	7	12	1	231
11月	11	200	1	2	1	1		11	23	10	11		271
12月	6	199	3	1	4	1		6	13	10	2		245
計	47	2470	32	27	39	11	19	121	283	254	61	6	3370

消 防 団

消 防 団 員 数

(平成31年4月1日現在)

定 数	7 3 0 人
実 員	7 2 5 人

種類・階級 所 属	基 本							機能別	合 計
	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	団 員	
本 部	1	3			1	1	8	5	19
東部分団			1	1	2	4	51	3	62
神戸分団			1	1	3	6	44	25	80
南部分団			1	1	2	4	38	4	50
野田分団			1	1	2	4	53		61
中部分団			1	1	2	4	48	4	60
童浦分団			1	1	2	4	44	4	56
赤羽根分団			1	2	3	6	80		92
泉分団			1	1	2	4	45	7	60
福江分団			1	3	4	8	99		115
伊良湖岬分団			1	2	3	6	58		70
合 計	1	3	10	14	26	51	568	52	725

消 防 団 員 勤 続 年 数

(平成31年4月1日現在)

種類・階級 年 数	基 本 団 員							機能別 団 員	合 計
	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	団 員	
5 年未満		1	3	4	7	20	373	6	414
5 年以上 1 0 年未満		1	6	8	17	30	160	16	238
1 0 年以上 1 5 年未満	1	1	1	2	2	1	35	28	71
1 5 年以上 2 0 年未満								2	2
2 0 年以上 2 5 年未満									
2 5 年以上									
合 計	1	3	10	14	26	51	568	52	725

(※機能別団員は、基本団員年数含む)

消 防 団 員 年 齢

(平成31年4月1日現在)

種類・階級 年 齢	基 本 団 員							機能別 団 員	合 計
	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	団 員	
21歳							6		6
22歳							8		8
23歳							25		25
24歳							37		37
25歳							40		40
26歳							57	1	58
27歳						1	64		65
28歳						2	54		56
29歳				1	2	8	83		94
30歳			2	3	6	18	55		84
31歳			5	6	9	14	59	1	94
32歳			1	2	4	3	34	3	47
33歳			2	2	3	4	27	4	42
34歳					1		14	11	26
35歳							1	9	10
36歳								7	7
37歳							1	7	8
38歳								6	6
40歳		1					1	1	3
44歳									
45歳		1				1	2	1	5
47歳		1						1	2
49歳	1								1
52歳					1				1
合 計	1	3	10	14	26	51	568	52	725

*消防団員平均年齢

29.2歳

歷代消防役職者

歴 代 消 防 長 ・ 消 防 署 長

消 防 長

代	氏 名	在 籍 期 間	備 考
初代	鈴木 泰	昭和47年 4月 1日～昭和50年 4月27日	町長兼務
二代	大谷 敏夫	昭和51年 1月 1日～昭和55年 3月31日	署長兼務
三代	寺田 康雄	昭和55年 4月 1日～昭和57年 3月31日	署長兼務
四代	渥美 昌夫	昭和57年 4月 1日～昭和58年 5月31日	
五代	松井 直	昭和58年 6月 1日～昭和59年 3月31日	
六代	鈴木 誠	昭和59年 4月 1日～平成 2年 3月31日	
七代	尾原 昇一郎	平成 2年 4月 1日～平成 7年 3月31日	
八代	鈴木 眞一郎	平成 7年 6月 1日～平成 9年 3月31日	
九代	河合 直樹	平成 9年 4月 1日～平成13年 3月31日	
十代	山田 憲一	平成13年 4月 1日～平成14年 3月31日	
十一代	鈴木 利雄	平成14年 4月 1日～平成20年 3月31日	
十二代	立岩 正昭	平成20年 4月 1日～平成21年 3月31日	
十三代	小川 道夫	平成21年 4月 1日～平成23年 3月31日	
十四代	寺田 幸弘	平成23年 4月 1日～平成25年 3月31日	
十五代	大根 義久	平成25年 4月 1日～平成28年 3月31日	
十六代	大場 広之	平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日	
十七代	三浦 修司	平成29年 4月 1日～平成31年 3月31日	
十八代	山田 憲男	平成31年 4月 1日～現在に至る	

消 防 署 長

代	氏 名	在 籍 期 間	備 考
初代	大谷 敏夫	昭和47年 4月 1日～昭和54年11月30日	昭和51年1月1日より 消防長兼務
二代	寺田 康雄	昭和54年12月 1日～昭和57年 3月31日	昭和55年4月1日より 消防長兼務
三代	河合 直樹	昭和57年 4月 1日～昭和63年 3月31日	消防次長兼務
四代	尾原 昇一郎	昭和63年 4月 1日～平成 2年 3月31日	消防次長兼務
五代	彦坂 善弘	平成 2年 4月 1日～平成 6年 3月31日	消防次長兼務
六代	別所 克巳	平成 6年 4月 1日～平成11年 3月31日	消防次長兼務
七代	藤江 安文	平成11年 4月 1日～平成20年 3月31日	平成17年10月1日より 消防次長兼務
八代	寺田 幸弘	平成20年 4月 1日～平成23年 3月31日	
九代	杉原 護	平成23年 4月 1日～平成24年 3月31日	消防次長兼務
十代	藤城 義徳	平成24年 4月 1日～平成27年 3月31日	
十一代	大場 広之	平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日	
十二代	鈴木 常雄	平成28年 4月 1日～平成30年 3月31日	平成29年4月1日より 消防次長兼務
十三代	岡本 長佳	平成30年 4月 1日～現在に至る	

歴代消防団正副団長

団長

氏 名	在 籍 期 間	備 考
山 田 一 美	昭和30年 1月 1日～昭和38年 2月 2日	
河 合 主 税	昭和38年 5月11日～昭和42年 5月10日	
亀 井 明 之	昭和42年 5月11日～平成元年 6月 7日	
河 合 信 一	平成元年 6月 8日～平成 5年 6月 7日	
渡 邊 佳 成	平成 5年 6月 8日～平成 7年 6月 7日	
河 合 義 次	平成 7年 6月 8日～平成10年 8月17日	
亀 田 俊 春	平成10年10月 1日～平成13年 3月31日	
加 子 吉 主	平成13年 4月 1日～平成18年 3月31日	
眞 木 泰 弘	平成18年 4月 1日～平成20年 3月31日	
今 泉 隆 一	平成20年 4月 1日～平成24年 3月31日	
榊 原 源 一	平成24年 4月 1日～平成26年 3月31日	
瓜 生 陽 一	平成26年 4月 1日～平成28年 3月31日	
鈴 木 辰 也	平成28年 4月 1日～平成30年 3月31日	
大 河 寿 文	平成30年 4月 1日～現在に至る	

副団長

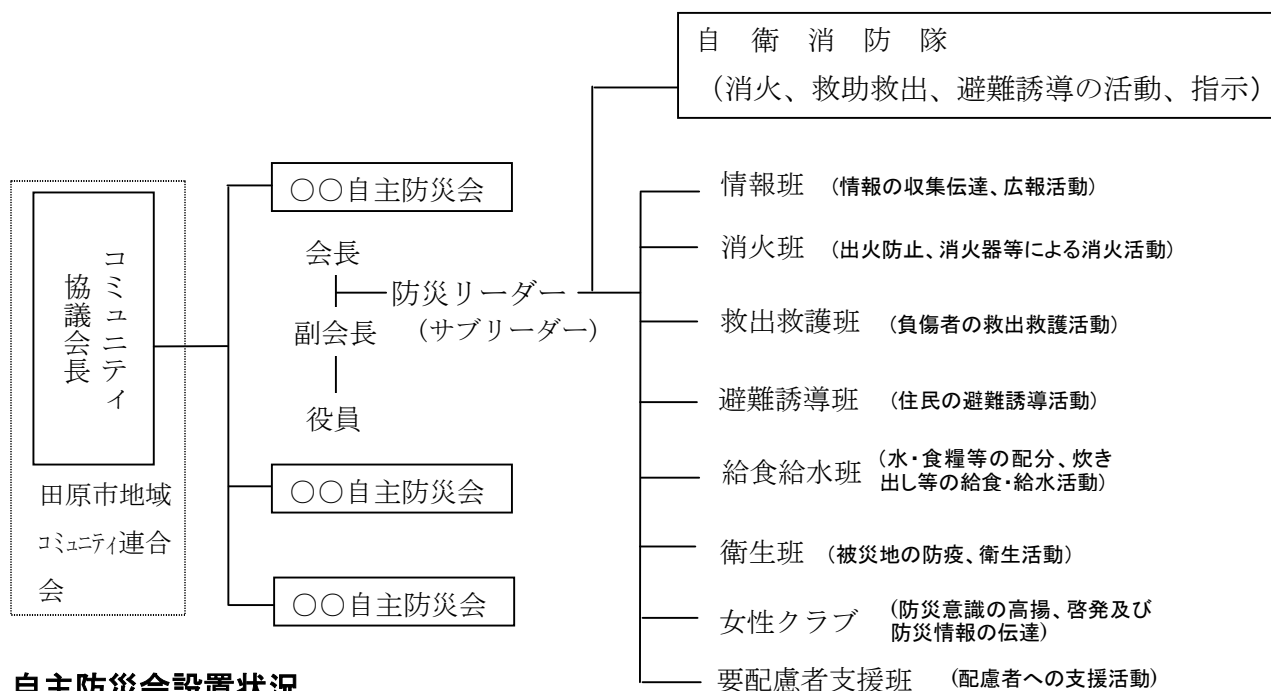
氏 名	在 籍 期 間	備 考
河 合 正	昭和30年 1月 1日～昭和34年 3月31日	
鈴 木 眞 次	昭和30年 1月 1日～昭和31年 5月 8日	
山 田 武 雄	昭和30年 1月 1日～昭和32年 4月 1日	
清 水 輝 一	昭和30年 1月 1日～昭和34年 3月31日	
大 羽 弘	昭和31年 5月 8日～昭和33年 3月31日	
菰 田 勇 雄	昭和32年 4月10日～昭和40年 3月31日	
河 合 善 嗣	昭和33年 4月 1日～昭和38年 5月11日	
河 合 主 税	昭和34年 4月 1日～昭和36年 4月26日	
西 山 修	昭和34年 4月 1日～昭和36年 4月26日	
林 健	昭和36年 4月26日～昭和38年 5月11日	
大 河 寛 一	昭和36年 4月26日～昭和38年 5月11日	
亀 井 明 之	昭和38年 5月11日～昭和42年 5月10日	
大 谷 敏 夫	昭和38年 5月11日～昭和46年 8月31日	

菰田 賢一郎	昭和42年 5月11日～昭和50年 5月10日	
福井 武一郎	昭和50年 5月11日～昭和62年 5月10日	
河合 信一	昭和62年 7月 7日～平成元年 6月 7日	
渡邊 保政	平成元年 6月30日～平成 5年 6月29日	
富田 雅則	平成 5年 6月30日～平成 7年 6月29日	
亀田 俊春	平成 7年 6月30日～平成10年 9月30日	
鈴木 利仁	平成10年10月 1日～平成11年 3月31日	
加子 吉主	平成11年 4月 1日～平成13年 3月31日	
眞木 泰弘	平成13年 4月 1日～平成18年 3月31日	
鈴木 啓	平成15年 8月20日～平成18年 3月31日	平成14年4月1日より 赤羽根町消防団副団長
杉浦 弘樹	平成17年10月 1日～平成19年 3月31日	平成17年4月1日より 渥美町消防団副団長
今泉 隆一	平成18年 4月 1日～平成20年 3月31日	
渡邊 邦通	平成18年 4月 1日～平成22年 3月31日	
宮本 智弘	平成19年 4月 1日～平成23年 3月31日	
榊原 源一	平成20年 4月 1日～平成24年 3月31日	
杉原 正仁	平成22年 4月 1日～平成24年 3月31日	
石川 易	平成23年 4月 1日～平成25年 3月31日	
瓜生 陽一	平成24年 4月 1日～平成26年 3月31日	
中村 一徳	平成24年 4月 1日～平成26年 3月31日	
渡會 祥三	平成25年 4月 1日～平成27年 3月31日	
鈴木 辰也	平成26年 4月 1日～平成28年 3月31日	
土井 文好	平成27年 4月 1日～平成29年 3月31日	
近藤 之彦	平成26年 4月 1日～平成30年 3月31日	
大河 寿文	平成28年 4月 1日～平成30年 3月31日	
盛田 哲成	平成29年 4月 1日～平成31年 3月31日	
中神通 文	平成30年 4月 1日～現在に至る	
渡會 晃敏	平成30年 4月 1日～現在に至る	
田中 正規	平成31年 4月 1日～現在に至る	

附 属 資 料

防 災

自主防災会の組織（例）



自主防災会設置状況

コミュニティ協議会	自主防災会	組織数
六連	長上、久美原、浜田、百々、新浜	5
神戸	川岸、漆田一区、漆田二区、漆田三区、東赤石、サンコート、神戸市場、青津、希望が丘、赤松、志田、新美、南町、谷ノ口、東ヶ谷	15
大草	大草	1
田原東部	相川、谷熊、やぐま台、豊島、御殿山	5
田原南部	大久保	1
童浦	吉胡、木綿台、吉胡台、浦、西浦、波瀬、姫見台、片浜、白谷、光崎、片西	11
田原中部	一番東、一番西、三番組、四番組東、四番組西、四番組南、蔵王東ヶ丘、蔵王南ヶ丘、萱町、本町、新町	11
衣笠	加治、衣笠、八軒家、藤七原、鎌田、東滝頭、赤石	7
野田	芦、南、彦田、雲明、保井、東馬草、山ノ神、西馬草、今方、北海道、野田市場、仁崎、ほとと台	13
高松	高松	1
赤羽根	赤羽根東、赤羽根中、赤羽根西	3
若戸	池尻、若見、越戸	3
和地	和地、土田	2
堀切	堀切、小塩津	2
伊良湖	伊良湖、日出	2
亀山	亀山、西山	2
中山	中山、小中山	2
福江	長沢、福江、保美、向山	4
清田	山田、高木、折立、古田	4
泉	宇津江、江比間、八王子、村松、馬伏、伊川津、石神、夕陽が浜	8
合 計		102

地震災害避難場所

番号	コミュニティ 協議会	地震避難場所名	避難地区名
1	六連	六連小学校運動場	長上、久美原、浜田、百々、新浜
2	神戸	東部中学校運動場	川岸、漆田一区、漆田二区、漆田三区、神戸市場
3	神戸	愛知みなみ農協ふれあい支店前広場	東赤石、サンコート
4	神戸	神戸小学校運動場	青津、希望が丘、赤松、志田、新美、南町、谷ノ口、東ヶ谷
5	大草	大草小学校運動場	大草、大草団地
6	田原東部	田原東部市民館前広場	相川、谷熊、やぐま台
7	田原東部	田原東部小学校運動場	豊島、御殿山
8	田原南部	田原南部市民館前広場	大久保
9	童浦	童浦小学校運動場	吉胡、木綿台、吉胡台、片浜、白谷、片西
10	童浦	童浦市民館前広場	浦
11	童浦	笠山農村広場	西浦、波瀬、姫見台、光崎
12	田原中部	田原中学校運動場	巴江
13	田原中部	田原中部小学校運動場	萱町
14	田原中部	成章高校運動場	本町、新町
15	衣笠	衣笠小学校運動場	加治、衣笠、八軒家、藤七原、鎌田、東滝頭、赤石
16	野田	芦ヶ池農業公園サンテ ドーム前広場	芦
17	野田	旧野田中学校運動場	南、彦田、雲明、野田市場
18	野田	野田小学校運動場	保井、東馬草、山ノ神、西馬草、今方、北海道、仁崎、ほると台
19	高松	高松小学校運動場	高松
20	赤羽根	赤羽根中学校運動場	赤東、赤中、赤西
21	若戸	若戸小学校運動場	池尻、若見、越戸
22	和地	和地市民館前広場	和地、土田
23	堀切	渥美運動公園野球場	堀切、小塩津、和地一色
24	伊良湖	旧伊良湖小学校運動場	伊良湖、日出
25	亀山	亀山小学校運動場	亀山、西山
26	中山	中山小学校運動場	小中山
27	中山	福江中学校運動場	中山、向山、福江の一部
28	福江	福江小学校運動場	長沢、福江の一部を除く、保美
29	清田	清田小学校運動場	山田、高木、折立、古田
30	泉	泉小学校運動場	江比間（紺屋川以西）、伊川津、石神、夕陽が浜
31	泉	泉市民館前広場	宇津江、江比間（紺屋川以東）、八王子、村松、馬伏

地震避難所

番号	コミュニティ 協議会	地震避難所施設名	避難地区名
1	六連	六連小学校	長上、久美原、浜田、百々、新浜
2	神戸	東部中学校	川岸、漆田一区、漆田二区、漆田三区、神戸市場
3	神戸	神戸市民館	東赤石、サンコート
4	神戸	神戸小学校	青津、希望が丘、赤松、志田、新美、南町、 谷ノ口、東ヶ谷
5	大草	大草小学校	大草、大草団地
6	田原東部	田原東部市民館	相川、谷熊、やぐま台
7	田原東部	田原東部小学校	豊島、御殿山
8	田原南部	田原南部市民館	大久保
9	童浦	童浦小学校	吉胡、木綿台、吉胡台、片浜、白谷、片西
10	童浦	童浦市民館、浦区事務所	浦、光崎
11	童浦	北部保育園	西浦、波瀬、姫見台
12	田原中部	田原中学校	巴江
13	田原中部	田原中部小学校	萱町
14	田原中部	成章高校	本町、新町
15	衣笠	衣笠小学校	加治、衣笠、八軒家、藤七原、鎌田、東滝頭、 赤石
16	野田	芦ヶ池農業公園サンテ ドーム	芦
17	野田	野田小学校	南、彦田、雲明、保井、東馬草、山ノ神、西馬草、 今方、北海道、野田市場、仁崎、ほると台
18	高松	高松小学校	高松
19	赤羽根	赤羽根中学校	赤東、赤中、赤西
20	若戸	若戸市民館	池尻、若見、越戸
21	和地	和地市民館	和地、土田
22	堀切	渥美運動公園体育館	堀切、小塩津、和地一色
23	伊良湖	伊良湖市民館	伊良湖、日出
24	亀山	亀山小学校	亀山、西山
25	中山	中山小学校 ※第1次	小中山
26	中山	福江中学校	中山、向山、福江の一部
27	福江	福江小学校	長沢、福江の一部を除く、保美
28	清田	清田小学校	山田、高木、折立、古田
29	泉	泉小学校 ※第1次	江比間（紺屋川以西）、伊川津、石神、夕陽が浜
30	泉	泉市民館 ※第1次	宇津江、江比間（紺屋川以東）、八王子、村松、 馬伏
31		渥美文化会館 ※第2次	小中山、宇津江、江比間、石神、夕陽が浜
32		福江高校体育館 ※第2次	八王子、村松、馬伏、伊川津

風水害避難所

番号	コミュニティ 協議会	風水害避難所施設名	避難コミュニティ協議会名
1	六連	六連市民館	六連
2	神戸	神戸市民館	神戸
3	大草	大草市民館	大草
4	田原東部	田原東部市民館	田原東部
5	田原南部	田原南部市民館	田原南部
6	童浦	童浦市民館	童浦
7	田原中部	華山会館	田原中部
8	衣笠	衣笠市民館	衣笠
9	野田	野田市民館	野田
10	高松	高松市民館	高松
11	赤羽根	赤羽根市民館	赤羽根
12	若戸	若戸市民館	若戸
13	和地	和地市民館	和地
14	堀切	堀切市民館	堀切
15	伊良湖	伊良湖市民館	伊良湖
16	亀山	亀山市民館	亀山
17	中山	中山市民館	中山
18	福江	福江市民館	福江
19	清田	清田市民館	清田
20	泉	泉市民館	泉

飲料水兼用耐震性貯水槽整備状況

設置年度	容 量	設置場所
平成 7 年度	1 0 0 t ・ 1 0 0 t	田原中学校・中山市民館
平成 8 年度	6 0 t ・ 6 0 t	田原福祉センター・旧福江市民館
平成 9 年度	6 0 t	堀切市民館
平成 1 0 年度	6 0 t	泉小学校
平成 1 1 年度	6 0 t	神戸市民館
平成 1 4 年度	6 0 t	田原中部市民館
平成 1 5 年度	6 0 t	セントファール
平成 1 7 年度	6 0 t	赤羽根市民館
平成 2 0 年度	6 0 t	童浦市民館
合 計	7 4 0 t	1 1 か所

自主防災会用可搬式小型動力ポンプ配置状況

年 度	配 置 地 区	配置台数
1 5 年度	巴江、萱町、新町、本町、加治、八軒家、川岸、漆田二区	8
1 6 年度	やぐま台、波瀬、漆田三区、片浜	4
1 7 年度	豊島、南、赤羽根中	3
1 8 年度	浦、藤七原、中山	3
1 9 年度	江比間、福江、小中山	3
2 1 年度	八王子	1
2 2 年度	宇津江	1
2 3 年度	東・西馬草	1
2 4 年度	芦、小塩津	2
2 5 年度	吉胡	1
2 6 年度	伊川津、石神	2
合 計		2 9

防災行政無線設備設置状況

種 別	装 置	数量	設 置 場 所 又 は 常 置 場 所
固定系	親局	1	田原市役所
	中継局	1	大山中継局
	子局	2 5 1	市内 2 5 1 か所（内回転灯付 3 6 か所）
	地区遠隔装置	1	田原市役所
	遠隔制御器	1	田原市消防署
	全国瞬時警報システム （J－A L E R T）	1	田原市役所
移動系 （400MHz 帯）	基地局	2	田原市役所 田原市役所渥美支所
	移動局（車載型）	1 7	市役所 1 3 台 渥美支所 3 台 消防署 1 台
	移動局（携帯型）	2 8	市役所 2 5 台 渥美支所 3 台
	中継器	1	市役所
	指令制御器	1	市役所
	遠隔制御器	6	市役所 5、渥美支所 1
デジタル 地域 防災無線	統制局	1	市役所
	固定局	4	市役所、蔵王山、赤羽根文化の森、大山
	基地局	3	蔵王山、赤羽根文化の森、大山
	半固定局	6 8	
	携帯局	1 2 0	
	統制局用遠隔制御装置	7	市役所内

気 象

気象観測点：田原市消防署

月 別 日 平 均 風 速

(平成30年 日平均)

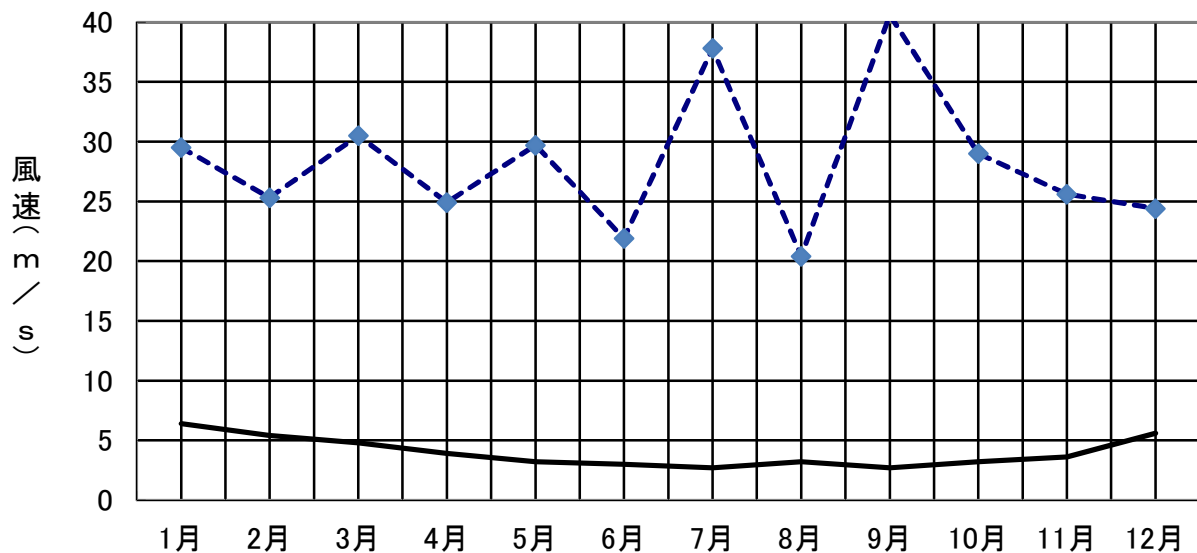
月別 風速	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
0.5m/s以下										2			2
0.6～1.5		1	6	4	4	7	4	3	6	8	6	1	50
1.6～2.5	3	1	4	6	15	4	13	15	13	4	6	5	89
2.6～3.5	2	5	2	7	4	11	7	3	7	3	6	4	61
3.6～4.5	1	5	4	3	1	3	5	3		6	4	2	37
4.6～5.5	5	5	4	3	2	3		3	1	4	1	2	33
5.6～6.5	4	2	2	3	2		1	2	1	1	4	3	25
6.6～7.5	6	3	3	1	1	1	1	2	2	1	1	3	25
7.6～8.5	3	1	2	1	1	1				1	1	7	18
8.6m/s以上	7	5	4	2	1					1	1	4	25
合 計	31	28	31	30	31	30	31	31	30	31	30	31	365

月 別 風 速 状 況

(平成30年)

年間平均風速 4.0 m/s

—◆— 最大瞬間風速 — 月平均風速



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最大瞬間風速	29.5	25.3	30.5	24.9	29.7	21.9	37.8	20.4	40.6	29.0	25.6	24.4
月平均風速	6.4	5.4	4.8	3.9	3.2	3.0	2.7	3.2	2.7	3.2	3.6	5.6

月 別 風 向 頻 度 (%)

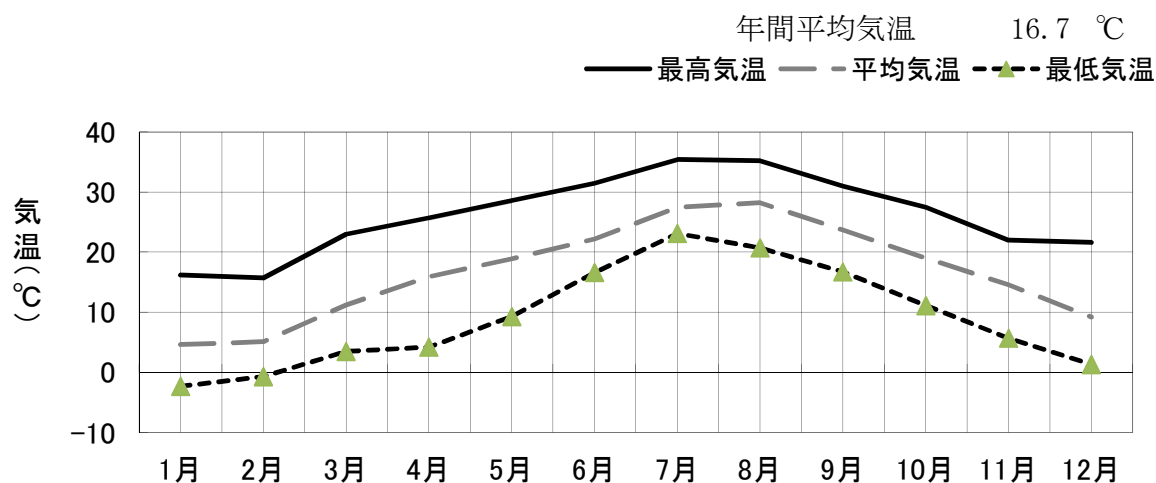
(平成30年)

月 別 区 分	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
北	0.1	0.3	0.4	0.2	0.5	0.6	0.2	0.3	1.4	1.2	0.7	0.4
北北東	0.1		0.3	0.2	0.5	0.8	0.1	0.3	0.6	0.7	0.3	0.1
北東	0.1		0.4	0.3	0.5	0.5	0.3	0.4	0.9	0.3	0.3	0.1
東北東	0.2	0.1	0.3	1.5	1.8	1.3	1.6	1.1	2.2	0.7	0.4	0.1
東	0.8		2.7	4.7	6.3	6.9	5.6	3.7	8.4	2.2	1.0	0.3
東南東	0.9	1.1	8.8	12.9	12.5	16.5	22.7	15.4	18.6	8.6	1.9	0.6
南東	0.2	0.3	3.2	6.0	6.9	10.3	19.3	8.1	8.0	2.0	1.1	0.2
南南東			2.8	3.6	4.9	5.2	10.6	5.5	3.5	0.9	0.3	0.1
南	0.1		1.6	2.1	3.0	2.9	4.2	2.8	2.5	0.3	0.1	0.1
南南西	0.2	0.1	0.8	1.8	2.3	2.4	1.7	4.5	2.4	0.2		
南西	0.3	0.2	1.5	2.7	2.1	2.9	1.5	5.4	2.1	0.3		0.2
西南西	0.2	0.1	1.9	2.1	1.1	1.8	1.2	2.8	1.1	0.4	0.1	0.1
西	1.8	4.2	3.9	3.9	3.3	4.3	2.7	7.6	3.2	2.9	3.3	1.6
西北西	77.7	69.8	45.5	37.3	30.9	25.1	12.5	25.2	22.5	42.5	53.1	69.5
北西	12.3	18.2	12.1	7.7	10.4	6.2	2.1	4.4	8.2	16.2	21.2	19.0
北北西	1.6	1.5	2.4	2.0	2.7	1.2	0.4	0.9	2.8	4.0	5.3	3.3
静穏	3.4	4.1	11.4	11.0	10.3	11.1	13.3	11.6	11.6	16.6	10.9	4.3

※ 静穏とは、ほとんど無風の状態(風速0.3m/s未満)

月 別 気 温 状 況

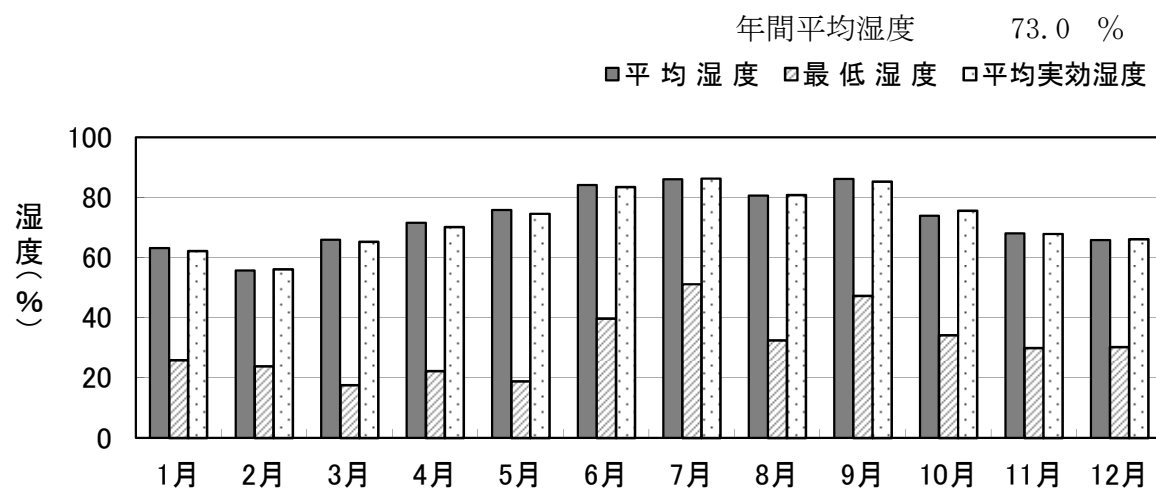
(平成30年)



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高気温	16.2	15.7	23.0	25.7	28.6	31.5	35.4	35.2	31.0	27.5	22.0	21.6
平均気温	4.6	5.1	11.2	15.9	18.9	22.2	27.5	28.2	23.7	19.0	14.6	9.2
最低気温	-2.3	-0.7	3.5	4.2	9.3	16.6	23.1	20.7	16.7	11.1	5.7	1.3

月 別 湿 度 状 況

(平成30年)



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均湿度	63.1	55.6	65.9	71.5	75.8	84.1	86.0	80.6	86.1	73.9	68.0	65.8
最低湿度	25.8	23.8	17.5	22.2	18.8	39.7	51.1	32.4	47.2	34.1	29.9	30.2
平均実効湿度	62.1	56.0	65.2	70.2	74.6	83.5	86.3	80.8	85.3	75.6	67.8	66.0

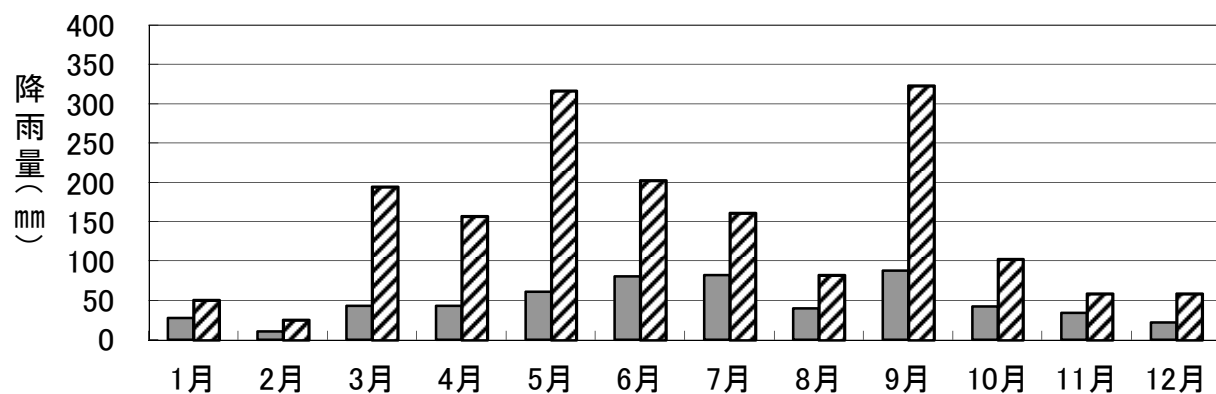
※実効湿度：木材の乾燥の程度を表す指数で、数日前からの湿度を考慮に入れて計算する。
実効湿度が50～60%以下になると火災の危険性が高まる。

月 別 降 雨 状 況

(平成30年)

年間総雨量 1,734.0 mm

■日最高雨量 ■月総降雨量



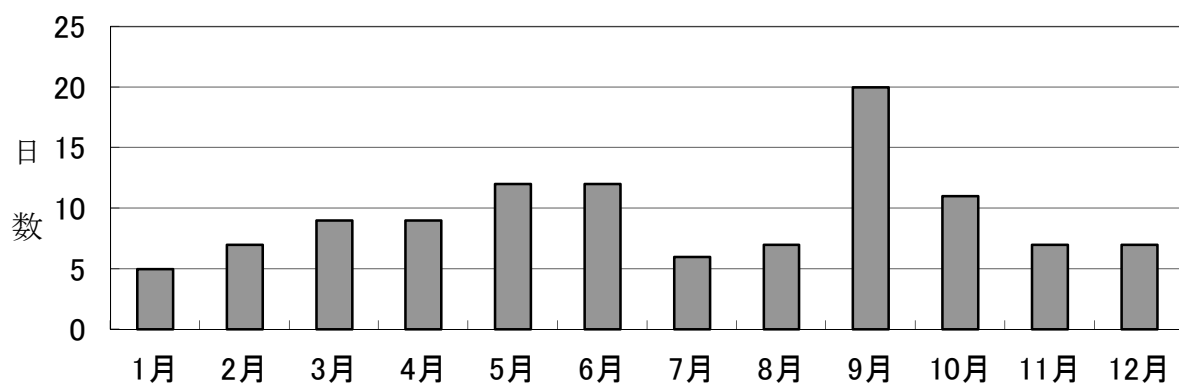
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
日最高雨量	27.5	11.0	43.5	43.5	61.5	80.5	82.0	40.0	88.0	42.5	34.0	22.0
月総降雨量	50.5	25.0	194.5	157.5	317.0	203.0	161.0	82.5	323.5	102.5	58.5	58.5

月 別 降 雨 日 数 状 況

(平成30年)

年間降雨日数 112 日

■月降雨日数



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
月降雨日数	5	7	9	9	12	12	6	7	20	11	7	7

